

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（404）
2. 日時：令和4年10月24日 15時00分～18時25分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、天野安全管理調査官、江崎企画調査官※、

秋本管理官補佐、藤原主任安全審査官、三浦主任安全審査官

宮本主任安全審査官、伊藤安全審査官、大塚安全審査官、

小野安全審査官、上田審査チーム員、日南川技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

石田技術参与※

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 原子力リスク管理グループリーダー、他3名

原子力事業統括部 部長（安全設計担当）※、他5名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 地下水排水設備について
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第4条 地震による損傷の防止（DB04 r.3.4）
- （3）泊発電所3号炉 ヒアリングにおける指摘事項に対する回答一覧表（地下水排水設備）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁藤原です。それでは時間になりましたのでヒアリングの方始めたいと思います。状況泊発電所3号炉の地下水排水設備についてに関して、説明の方、事業者の方から、
0:00:13	説明ください。
0:00:18	はい。
0:00:19	北海道電力田口です。
0:00:21	地下水排水設備についての、本日ご説明になりますけれども、こちらの方のご説明っていうのは、最初、
0:00:29	地下水位の設定方針に続けてお話をしたいということで今年の春先の辺りから何度かお持ちしてくるんですけれども、最初にまず地下水の設定方針がちっと固めて、
0:00:40	そもそもこの設備が何を要件として、
0:00:43	具備すべきものなのかというところをはっきりしてから、これを確認いたしましょうということ。
0:00:48	1回、地下水の設定方針から外して、別枠で今ご説明をしているという段階のものです。
0:00:55	地下水の設定方針については、もう1回、5、
0:00:59	会合の方で、
0:01:00	内容等ご確認いただいている、我々としてはこの地下水、
0:01:05	固定化設備、排水設備か。
0:01:07	に期待して、耐震の要件を満たすというような条件が一つ。
0:01:12	入ってきたということは確定して、
0:01:15	おります。
0:01:16	そういうところを踏まえて前回8月ぐらいだったと思うんですけども、
0:01:21	柏崎の設工認ベースの形のもので1回ご説明したんですけども資料として余りにも記載が足りないということで今回仕切り直して介護に向けて1回目の御説明という形で、
0:01:32	資料を持って参りました。
0:01:35	いただいたコメント等を踏まえまして、今回の資料でいきますと、1項から4項まで、こちら側の我々としては考える許可としての要件を定めて、
0:01:45	詳細設計の条件を定める部分と考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:50	それを踏まえまして我々としてはBWRの先行審査でいくと、新設のポンプですべて対応してくる中、既設のポンプで対応するという方針で今考えておりますので、
0:02:01	そこに適用した場合に設計が成立するのかと。
0:02:04	いう設計の成立性の部分を5項以降で整理した形。
0:02:10	いいのかな。
0:02:12	5項以降で整理した形で持ってきています。
0:02:17	一応最初の時に、地下水の設定方針と一緒にお話ししようと思った時に要件等が決まっていなくてとかそういうところがあったものは、かなり明確になってきた。
0:02:26	段階とっておりますし、先ほどのスケジュール面談とかでもありましたけれども、
0:02:33	基本的にはこれ他の設備と同じように、
0:02:37	新たな要件としてきちんと決め、それが設工認に繋がるというところを早めに決めておきたいということで、本日も説明1回目という形をお願いいたします。12月8日の会合に向けて、
0:02:50	ブラッシュアップを進めて参ります。
0:02:52	説明は伊東から、
0:02:58	はい。北海道電力の伊藤でございます。どうぞよろしくお願いたします。
0:03:02	まず本日の資料ですけれども資料1としてパワーポイントの資料でございますこれこちらで審査会合をに向けて準備していると、資料2が、
0:03:13	ほぼ同じ内容でございますけれども、
0:03:15	Word版ということでこれが別紙11耐震一別紙11そのものになるのかというものでございます。
0:03:23	資料3が、
0:03:24	ヒアリングの指摘事項に対する回答一覧表ということでございまして、
0:03:30	大変申し訳ございません一つですね、
0:03:34	ですね。
0:03:36	5分の3ですかね。
0:03:41	失礼しました5分の4なんですけれども、
0:03:46	ナンバー18。
0:03:48	後日回答予定というふうにしてございますこれ私の
0:03:54	選択ミスでございまして本日回答ということで、かつとしたの、19番と回答内容同じになっておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:04	この我々のルールにのっとると上と同じというような事を書くべきところでした。こちらは修正させていただきたいというふうに思っております。
0:04:16	それからもう一つですね、資料1と資料2の中で、別紙10という言葉が何度も出て参ります。
0:04:25	これ何を言ってるかと言いますと、田口の方からもお話がありましたもとのその地下水設定の方針側の資料ということを図示しております、
0:04:36	そちらを別紙10というふうに4、呼んでますけれども、ちょっとまだ本日時点で、この別紙10、Word版として、ご提出できてない状況であるにもかかわらずとこのような使い方。
0:04:50	リファアをしてるということでこちらは、次回ヒアリングを目途に、Word版の方もそろえてですね、資料1、別紙1と同じように、ご提示できるように、
0:05:01	準備を進めて参りたいというふうに思っております。
0:05:05	はい。
0:05:07	それでは、資料1で、概ね時間15分ぐらい、いただいて少し駆け足になるかと思えますけれども、伊藤の方からご説明させていただきます。
0:05:19	まず資料の作りですけども、
0:05:23	日本語がたくさん出大変申し訳ない読みづらい資料になってございますが、
0:05:28	まず道庁での設置を踏まえて、我々その今まで期待してなかった地下水排水設備に期待しますと、耐震評価という圧力影響を排除すると。
0:05:40	いうその前提を置きますので、その状況が変わることを踏まえて、
0:05:46	地下水排水設備ってどういう要件が必要なのかなっていうのを標準的なその地下水排水設備っていうのを想定して考えましたと。
0:05:56	それに対して、我々今、既設を信頼性向上させて活用しようと考えておりますけれども、どのような対応を行うことでそれを満足できるのか、ということを考えております。
0:06:09	さらに、前回、ヒアリングにおきまして、
0:06:13	重要度分類指針の記載もよく見て、どういう位置付けなのかというのは、今一度考えましょうというコメントもいただいております。
0:06:21	そのようなコメントも踏まえまして、
0:06:25	6ポチで施設区分ということで改めて整理して、
0:06:29	最後に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:33	他社さん、先行他社さんで、新設の井戸を作られてる女川さんですとか、嶋田さんの状況と、
0:06:39	比較をすることで、我々、どういう状況なのかっていうのを確認して、資料が終わっているという状況で、ちょっとまとめの部分が少し足りなかったのかなというふうに思いますのでその部分については、
0:06:52	次回以降のは、反映事項として、
0:06:58	修正していききたいなというふうに思う次第です。
0:07:03	ページめくっていただきまして2ページ目3ページ目は目次でございます。
0:07:07	4ページ目をお願いいたします。
0:07:09	はじめにで冒頭申し上げた包丁でできますよということと、今後は地下水排水設備に期待しますということを書いてございます。
0:07:18	5ページ目でございますけれども、これも申し上げましたけれども、
0:07:23	包丁で設置以降に機能を担う設備を地下水排水設備、
0:07:28	既存の地下水排水設備を、地下水排水設備括弧季節というふうに使い分けた上で、今後の対応、設備要件ですが、信頼性対策を整理しますということです。
0:07:40	パチッ6ページ目をお願いいたします。こちらは設計地下水の設定方針ということで、青マーキングしてございますけれども、こちら原子炉建屋等の主要建屋は、
0:07:52	排水設備に期待して、建屋基礎底面に地下水を保持すると。
0:07:57	そのことで、陽圧力を考慮せず設計する方針とするこのまま、6月23日の会合の資料のままですけれども、再掲ということでこちらの位置を施設全体も含めて、
0:08:09	お示ししている状況です。
0:08:12	それから7ページ目はまたあれですね6月23日の続きで、
0:08:21	繰り返しになりますけれども地下水の排水設備に期待しますということです。
0:08:28	8ページ目をお願いいたします。3ポチ、地下水排水設備と設置許可基準規則の関連性ということでございます。
0:08:35	どの条文に紐づく施設なのかということも設備なのかということも、きちんとお示しくださいというコメントもいただいていたと思います。
0:08:44	青ハッチングしてますけれども用圧力を考慮して設計するというところでございましてこちらは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:51	用圧力影響の排除に限定した記載となっております。で、他社さん先行他社さんの状況踏まえますと、液状化影響という観点で三条の2項ですとか、
0:09:03	瀬川もそのような条項が記載されてる場合がございますけれども、我々、使用建屋地下水排水設備に期待する主要建屋が、
0:09:14	基本岩盤ですとか、構造物に囲まれておりまして、3条2項の話は特に期待する施設として、設備として紐付けませんと。
0:09:24	いうことを書かせていただいているのが88ページでございます。
0:09:29	添付にも図面つけてますけれども、下に岩盤に囲まれている様子、建屋に囲まれている様子というのをサンプルでお示しているというものでございます。
0:09:41	4ポチ、9ページ目でございます地下水排水設備の設備要件ということで、
0:09:47	まずこちらのページで前提条件設備要件を定める上の前提条件として、(1)、①の地下水排水設備の目的及び機能、
0:09:57	ここの内容というのは繰り返しの内容になりますので割愛いたします。それから、②で機能維持を要求する期間ということで、下に四つ区分書かれてますけれども、基本的には、
0:10:08	原子力発電所の供用期間のすべての状態ということでございます。
0:10:13	それから大規模損壊のことについても下の方で一部触れてございます。
0:10:19	11ページ目をお願いいたします。それから前提条件の三つ目ですけれども、時の喪失時の影響ということで、
0:10:28	これまでのヒアリングでも何回か議論がありましたけれども我々、
0:10:33	地下水排水設備の機能が全喪失すると、比較的短時間、約1時間という添付資料、後ろにつけてございますけれども保守的に計算すると1時間で、
0:10:44	建屋の設計条件を逸脱することになりますと、
0:10:48	その状態で地震が発生してしまうと。
0:10:51	増尾館野田井先生に影響が及ぶということで、非常に重要な設備ですよということも、前提条件と踏まえ等踏まえた上で、
0:11:00	11ページ以降で設備要件として、必要な設備要件を決めるために必要な分析のに入っていくと。
0:11:08	いうことでございます。ちょっと、
0:11:10	ページ前後しますけれどもすみません14ページ目を、
0:11:14	お願いしてもよろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:21	14 ページ目でお示ししてございます冒頭で申し上げた、標準的な地下水排水設備の構成部位というのを、こちらで決めておまして、
0:11:31	我々既設活用を目指しており、その既設の部位というのも、参照しながら、
0:11:38	上から下までこのような整備というのを定めたということでございますこれを前提に分析を進めて参るとのことちょっとずつ、前後してしまっ って申し訳ございません。
0:11:49	11 ページ目に戻っていただきたいと思います。
0:11:54	数水色でハッチングします分析1というのは、まず想定する機能喪失要因の抽出ということで、前提条件ですべての期間で期待して非常に重要 ですと。
0:12:06	そのような重要性を踏まえて、
0:12:12	まず機能喪失要因というのは、すべからく抽出してそれにどのような対応が必要なのかというのを整理しましょうということでこちらも
0:12:22	前回ヒアリングです、地震のことばかりじゃなくて地震が来る前の話は どうなんだというご指摘、何とかいただいたと思っておりますんでそれに受ける形で、
0:12:35	他社さんの先行他社さんの分析も参考にしつつ、実施しているものでござ います。
0:12:41	分析にはですねさらに、
0:12:47	地下水排水設備が分析1の結果で守るんですけれども、喪失の機能喪失 の可能性があるとしたときに、
0:12:57	と同時に、
0:13:00	運転時の過渡変化とか設計基準事故とか重大事故等これあの時、各事象 で呼んでますけれどもこういうものが起こるのか。
0:13:09	起こる場合にどんな対策が必要なのか、12 ページ目をお願いいたしま す。それから、分析の3では、その各事象と、排水設備の機能喪失が重 なったらどうなるのか。
0:13:22	重なった結果追加の対策が必要あるのかと、分析は大規模損壊の話でこ こではちょっと後程また説明いたします。
0:13:32	結果ですけれどもちょっとここ以降表が多くてですね各分析の
0:13:37	内容を一覧表に取りまとめておりますけれども、
0:13:41	結果としてどうなったかというところがですね、飛びますけれど 24 ペ ージ目をお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:50	分析結果を踏まえた信頼性向上のための配慮事項ということで、まず分析1の結果から、
0:13:58	各事象に対する配慮事項というのを4-6表の通り整理したと。
0:14:04	これが25ページ目にお示ししてございます。
0:14:08	機能し構成部位をお示した上で、機能喪失要因というのはこういうのがありましたと。
0:14:14	なので配慮事項としては下に書いてあるようなことが必要になりますと、ということをお示した表になります。
0:14:22	それから、分析に、の結果なんですけれども、
0:14:27	全交流電源喪失への配慮として、代替電源設備からの電源供給が必要で すというそういう分析結果をますので、こちらも一つ結果として出てく るものとなっております。
0:14:46	26ページ目をお願いいたします。
0:14:49	26ページ目は結果としてどのような制御系間監視系電源系含めてどの ような対応に、どのような
0:15:00	設備要件として示されるのですかというものを少し見やすい形でお示し しているものでございまして、
0:15:08	基本的には多重化されたもので、安全系の電源をとって、ちょっとこの ページではお示しできてませんが、
0:15:19	すべての範囲S s 機能維持が必要ですねというそういう結果になってご ざいます。
0:15:25	それから、27ページ目ですけれども、設備要件としては必要な入って くる地下水を全部排水できることというのは当然必要になって、
0:15:38	きますので、ただそのあたり、
0:15:40	設工認で実施する浸透流解析の結果にもよりますのでここでは、ちゃん と分けることということを設備要件として4.2として定めているもので ございます。
0:15:52	28ページ目をお願いいたします。
0:15:55	こちら試験または検査ということで、
0:15:58	ずっと使えます。そして供用期間すべての状態において機能維持が必要 です。そのために、
0:16:04	お互い片系列が市来たまま試験できるような構成というのは必要ですね ということで、先ほど、
0:16:12	26ページの4-1図で示したようにこれで達成されているのかなと思い ますけれども、試験または検査の観点からも、設備要件としては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:20	分離して検査できることが必要になるということでこのようにお示しているものでございます。
0:16:26	29 ページ目以降は、今お話したような設備要件を踏まえて、我々、既設活用しようと思っておりますけれどもどのような信頼性向上対策が必要ですかということを、
0:16:38	考えたものでございます。結果としては、30 ページ目の5-1 表に、
0:16:44	お示ししてございますけれども、設備概要今のものが右側に示しているもので、左側がちょっと絵が小さくて申し訳ないんですけれども、
0:16:54	この範囲を全部耐震取った上で、屋内配置にして、
0:16:59	今、多重化されてないものは多重化しなきゃいけないと、あと、代替非常用発電機からも、我々用意してるものなんですけれども電源供給可能とするということでございます。
0:17:10	31 ページ目は、耐震 S s 機能維持の確認方法ということで、整理したものでございます。
0:17:17	32 ページ目はこの参考ですけれども、許可の時の解析でやったし、湧水量というのは、十分はける設備が今つい今時点ではついてます。
0:17:29	33 ページ目は試験検査の実施例ということで、内容頻度、対象部位等を整理したものです。
0:17:38	6、
0:17:39	34 ページ目、施設区分ということで耐震重要度についてまず載せていて、こちらは添付もでございますけれども耐震重要度 C クラスということでしてます。
0:17:52	6.2、こちらは安全重要度でございますけれども、まず設計基準対象施設でございますと、その上で、安全機能の定義、
0:18:07	ですとか、指針で示される、重要度分類に定められた安全機能を有する構築物系統機器にはいずれも分類されていませんということを、こちらの添付資料にも示しています。
0:18:19	ただ、
0:18:21	非常に重要であるというところは変わらないので、重要度分類指針も参照して、設計上の考慮事項の程度というのを確認しましたと。
0:18:31	その下四つ目の○ですけれども重要度分類指針では直接関連系間接関連系統外系とありまして、最後の丸ですけれども、間接関連系については、
0:18:43	菅当該警友会の重度を有するものとみなすというふうになってございますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:49	直接の機能というのは当然指針では示されていないんですけども地下水を排水して、間接支持機能ですかねそういうのはないんですけども、
0:19:00	中に入っている重要施設との関連で言えば、間接関連系と同様の設備なのかなというふうに、取り扱い安全重要度はクラス2相当と。
0:19:11	いうふうに位置づけるといふふうに整理しております。
0:19:15	クラス2相当にして、クラス2の要求事項を今回の
0:19:22	設備要件が満足しているのかというところを整理した結果が36ページ37ページに示しているもので、基本的には要求のないものもやっている、要求があるものについては網羅されているとそういう結果を
0:19:37	お示ししているものでございます。すいません耐震性の話が飛びましたけれども耐震Cクラスということでそれに対して、
0:19:43	成績の維持ということでこちらも
0:19:46	要求事項を満足している状況なのかなというふうに整理してございます。
0:19:51	38ページ以降、運用管理保守管理ということで、
0:19:57	まずは、ですね可搬型水中ポンプというものを我々、準備するということをお示ししてございますが71の表で、揚水ポンプ発電機等というのを一色
0:20:10	用意するということを示してございますその他上の方に、
0:20:14	いろいろな運用については書いてますけれども割愛します。
0:20:19	で、39ページが保守管理の方針で、クラス2相当ですので、コスモたクラス2設備と同様に予防保全ということが一番に変えていると。
0:20:27	で、故障した場合というのは先ほどの交渉の話、ありますので、可搬型水中ポンプを確保した上で機器故障時には原因調査を行い補修すると。
0:20:39	いうことを書いてございますこれまた後で少し補足します。
0:20:44	集水管の内部確認と清掃について、39ページ真ん中ありますけれども、
0:20:50	そこの、この辺りもセンコーさんでは保守管理できるのかというところが議論になっておりますので、
0:20:56	我々今、建屋の周りに開口を設けてそこから自由を入れて掃除すると。
0:21:05	定期的に確認するそういう運用を考えてございますので、運用と対応を考えてございますのでそれは添付資料の方で、また後程、少しご紹介します。
0:21:16	40ページは、今考えている点検用のアクセス孔の設置箇所の案でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:24	41 ページは、復旧対応ということで、仮にこれは湧水ピットポンプ壊れた場合には、単一故障的に壊れた場合には、
0:21:35	先ほど申し上げた水中ポンプを持ってきてですね、資機材として用意してるものを持ってきて、代替手段を確保しながら、ただ、も、もう片系列は生きてるでしょうから、そちらに排水機能を
0:21:49	持たせながら補修をしていくということで、
0:21:52	前回すいません
0:21:54	このピットの中にすでにある可搬重ねて常設的なそのポンプのお話をしたんですけれどもそれは実態としてあるんですけれども、
0:22:03	今後は基本的にそちらには期待しないということで、もし、検討した場合にですね恒設に影響を及ぼさないということがしっかり確認できれば、
0:22:14	また、活用していくという道はあると思うんですけど、今現時点においては、基本的には、水中にあるものについては期待せずに、対応して参りたいとそういう方針でまとめております。
0:22:27	42 ページ目戸部膨張てを設置した先行炉との比較ということで、こちら内容、かなりすいません字が小さいんですけれども、
0:22:37	基本的にはこれまでの会、6月23の会合の中でも示してきた内容と重複するところあるかと思えます。
0:22:46	新たな項目としましては、企画項目二つ目のせん断は、地盤のせん断、
0:22:52	速度ということで、泊の地盤で硬いんじゃないのという話も少しございましたので他社さんの許可も見ながら許認見ながら確認してきたものでございます。
0:23:04	それから関連する設置許可基準教育の状況というのが下の方にした、下から2番目ありますけれども、3条2項が我々が無いというところが特徴なのかなというふうに思っているところです。
0:23:21	次、44 ページ以降は添付なので基本的に割愛していきたいと思えます。
0:23:29	48 ページ目をお願いいたしますこれ添付1、既設のどんなものについているのということで、
0:23:39	図の中に示すTPというのは意味ちゃんと書けるところを囲んでるとそういうお話ありましたんで反映しているものでございます。
0:23:48	それから、添付資料2が52 ページでございます。本文側でも出てきましたけれども断面地図を示した上で、
0:23:57	建屋の原子炉建屋の集大成の周りがどうなってるのかというのを、断面でお示ししているものです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:04	添付資料 355 ページからですがけれども、時間短いよと。機能喪失してから、す。登用圧力が出る可能性がある、水に至るまで時間がないですというところの、
0:24:16	算出の仕方ですとか、あと計算結果というのをお示ししているものがございます。
0:24:24	60 ページをお願いいたしますこちら添付資料 4、地下水の排水経路ということで、
0:24:30	今の状況をお示ししているもので、
0:24:34	添付 4-1 図で示します通り左下から、
0:24:38	こちら原子炉補助建屋ですがけれども優先ピット配管がきて電気建屋を介して、
0:24:44	一次系放水ピットに流れますということです。で、
0:24:49	61 ページの添付 4-2 の (1) 図ですがけれども、通常であれば、
0:24:55	一次系放水ピットに流れた地下水は、原子炉補機冷却海水放水量に流れ込みます。
0:25:03	62 ページをお願いいたします。その先というのはですね、
0:25:07	放水ピットに行って、
0:25:10	放水炉を通過して、外界に放出されると、そういうのが、
0:25:16	通常の流れでございますけれども、63 ページでお示ししているのは、地震のときどうなるんだっけということで、仮に、添付 4-3 図で、村崎 × を下の図につけてますけれども、
0:25:30	原子炉補機冷却海水放水炉、耐震をとっているものでございませぬので全閉塞するかという、なかなかないのかもしれないですが仮にこちらに流れなくてもですね、
0:25:41	電気建屋の一次系放水ピット部の開口から敷地に流れて、外海に流れていきますという、というのが建設時の考え方でございます、ただいま、
0:25:53	添付 4-4 図に示します通り、防潮庭ができて、敷地に流れたものがどうから、じゃあ、外海に出るんですかというなりますと、
0:26:03	構内排水設備が下にありますのでそこから細見の方に排出されると、そういう流れを考えてるところです。
0:26:13	添付資料 5、65 ページでございますこちらは先ほど申し上げた C クラスですとか安全機能で該当するものがないということを整理したものですので割愛いたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:27	添付資料6が73ページ目でございます。こちらコメントいただいているところかと思えます。耐震性、
0:26:37	ですとか、あと、一部
0:26:40	集水管及びサブドレンが設置される岩盤の安定性局所安全率のお話について、
0:26:48	本日時点でお示しできないんですけどもこちらは確認して、お示ししますということで、
0:26:55	一つ目の枠の下の方にその辺り追加しているものでございます。
0:27:01	それから、75ページのところがですね、今後、穴を掘って、中を点検するときに使う装置をお示ししているものでございます。
0:27:14	76ページ77ページが、ちょっと我々体育館ですとか、屋外使って、本当に何か入っていけるのかなっていうのを確認したものがございましたので、
0:27:24	ご参考にお示ししているもので基本、
0:27:27	なお、複数設けることで、アクセス複数設けることで対応可能なのかなというふうに評価しているところでございます。
0:27:36	80ページ81ページ82ページこの辺りは、水の分析をしてございます。できるだけ集水管に近いところで
0:27:47	水の観測孔がありますので、1日前に水抜いて、新鮮な水を汲んで分析してみました。
0:27:54	いう結果を82ページにお示ししているものでございます。
0:27:58	ちょっと1回しかやってなくてランクエリア指数とか測ったのが初めてだったので、1年後にもう1回やってみたら同じような結果を経ていきますよということを示しているもので、
0:28:10	ナンバー9. 海側のものは、ちょっと塩水の影響地表に使用の飛沫が飛んでくる影響だと思ってるんですけども電気伝導率が少し高目なんです、
0:28:21	総じての欄グリスマイナスに振れてるということで腐食性の水となっております。
0:28:27	ですので、今我々使ってる集水管類、
0:28:32	A塩ビ系ですね、プリンターケースそちらの方にはあまりいけないのかなと思えますが、
0:28:38	そピットに排水された後の金属に対しては、少し考慮が必要なのかなということでこちら考慮しつつ、ただ修正管の中で何か析出するような

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	性質ではないだろうということは確認できてると、そういう状況でございます。
0:28:54	すいません 15分と申し上げて少し押してしまって申しわけございません
0:28:58	移動からの説明は以上になります。はい。はい。規制庁藤原ですそれは質疑に入りたいと思いますがちょっと私の方から資料のちょっと全体的な構成的な話だけ、細かい話はちょっとまた別で、
0:29:12	ちょっとやりたいと思うんですけども、目次の2ページとかをちょっと見ていただいでですね。
0:29:18	等目次の中でもはじめにから設定方針から信頼性向上と設備要件1ポツ2ポツからずっとあって、7、8ポツまであるんですかね。
0:29:29	ごめんなさい。ちょっとこれらの目次で書かれてる項目の相関関係がちょっとごめんなさい。ここの中の資料にもしかしたら記載が、
0:29:39	あったのかもしれないですけどわかりませんでしたで、資料があったのかもしれないって申し上げるのは、ちょっと冒頭何か今伊藤さんが説明されたように、ちょっと日本語が結構たくさん、
0:29:49	あるがゆえに何かちょっと埋もれてしまってる可能性はちょっともしかしたらあるのかもしれないというそういう申し上げてますんで、何となくちょっと私はちょっとあまり相関関係がわかる文章もちょっと見つけづらくですね。
0:30:00	もうちょっとこの関係性がわかるものをちょっと何か、何か地図みたいなやつですかね、何かあるといいのかなと思います。例えば、
0:30:10	そもそも今回の審査会合で、地下水排水設備をなぜ説明しないといけないのか。
0:30:17	従前であればその先行との大きな違いや何か議論しないといけないことが、もしなければあまりないところを今回、やる必要があると考えたその理由。
0:30:28	これは多分おそらくこうですよ。地下水排水設備っていうのは、あまりその規則とか規格基準上何か、そういった施設の区分とかなかなかなくて、
0:30:39	ただ、重要なものであるというふうに、これまで審査がなってきたところから、各個別のプラントごとで整理をしていかないといけないものである。だから、
0:30:50	今回いろいろ分析し、結果、設備設備をこのように配置するとかですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:58	要は結論、要はこのような設備の配置に至ったその
0:31:03	過程をきちっと、
0:31:04	何か静かなんかです、例えば整理いただいた方がよりわかりやすいのかなと思いました。何、もっと
0:31:11	一番ちょっとわからなかったのがこの、
0:31:13	なんだろう。目次の節施設区分で、何すか、施設もこういうふうにしますと言いながら、また何か要求事項が6ポツ3で出てきて、何かあれ、こっちで何かヤッチャンやったんじゃないかなかったっけとか、
0:31:28	いう何かグルグル回りがちょっと生じてしまったんですね、要はこういった何かまた相互に多分関係してるものは、なかなか目次とか或いは全部の内容見てわからないので、ちょっと素行、セリア、
0:31:41	そういった方がよりいいのかなと、運用管理もそうですよねポツ、これ、要は、これだけなんかパネルで何か他と施設区分と同じ並びになってますけど、こういったあれでも何か、
0:31:53	信頼性向上対策とか或いは施設区分の関連から何かこういうふうにするって言ったんだっただのかなとかですねそういうのが、ちょっと
0:32:01	なかなかわかりづらいところがあってですねそこをちょっと、もしかしたら目次はこのままでいいかもしれないですけど、もちろん何か地図、
0:32:09	みたいなやつですか。
0:32:10	要は、どういうふうにするかは、北電が考えてこういうふうにしたかというところをちょっと位置付けた上で、あと、ちょっと井藤さん、今冒頭でおっしゃったように、結論ですかね。
0:32:22	要は今回の泊の地下水排水筋や、これこれこれこれ、こういったことから、このような形にして、こういうふうな施設、
0:32:33	考えとしたとかですねそういうような、何か1枚にまとめたものがちょっと何かあまりなく、結局、
0:32:40	これ何やったんだらうっていうところをちょっとわかりづらかったので、ちょっと長々と申し上げましたが一応その辺がちょっとわかりやすいの観点の取り組みというのは、された方がいいのだと思いますが、いかがでしょう。
0:32:53	北海道電力の伊藤です。
0:32:56	ご指摘ありがとうございます関係関係、資料全体で何がどこに、ひもづくものなのか、確かに今、
0:33:03	おっしゃっていただいた通りで発表しましたがけれども7ポチなんかは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:07	あえて同じこういうふうに並べるのが適切なのかというところも含めまして、あとですね、6ポチのその6.3の要求事項については確かに、
0:33:18	混乱を招く記載だなと思いました1としては、
0:33:22	施設区分で定まった要求事項に照らして、5ちいのAで定め、4ポチポチでやってることが妥当なのかということを確認するというそういうものでございましたけれども、目次を見ただけで全くわからないというのはご指摘の通りかと思えます
0:33:37	最終的なその結論も合わせて、相関関係をまず冒頭でお示した上で、個別の項目の説明に入るとそういう資料構成に見直したいと思えます。
0:33:48	97年度に申し上げますけど別に目次を全部見直し欲しいとかいうことではなくてあくまでもやっぱ地図があった上で、その地図に沿った目次構成になってれば、構わない。要は、
0:33:59	何が言いたいかというこの7ポチのこいつが重要で、要は他と平行でやらないといけないとそれはそれでいいと思うんですね。ただそれは、これから多分使える地図に沿って、
0:34:11	その重要度点数の明らかな段階で初めて、そうなり得るものだと思う。そういうふうにとちょっと後のお考えをちょっと整理いただけたらと思います。よろしいですかね。
0:34:21	津波ですよもうちょっと
0:34:24	何だろうなあ、あと、
0:34:26	この資料全体的にちょっと見た時にですねこの目次の2ページを見たときに、4ポツ1がすごい枚数多いじゃないですか。
0:34:34	これは私これ見た時にですねこの分析っていうのが、今回の審査会合で議論して欲しいことなのですかっていうふうにとちょっと思ったんですけども、この分析っていうのは議論して欲しいものでしょうか。それとも、
0:34:48	何か先行と違いがないんじゃない。多少、条件の違いがあろう、何か議論しなきゃいけないことが書かれていますかその辺ちょっと説明いただけますか。
0:35:01	はい。北海道電力の人でございます。我々が事業者として、個別に考えなきゃいけないところというのはもちろんございますけれども、基本的に、
0:35:11	線香等、様と同じ評価は結果的としてされてますので、
0:35:17	今回、本件に関して事業者の方から、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:21	議論して欲しいというところはございませんっていうのが回答になります。
0:35:27	はい。土田さん大体おっしゃることはわかりました。はい。
0:35:31	じゃあちょっと全体的なちょっと構成の話をちょっと私の方から以上とさしていきまして個別の話じゃ、
0:35:36	入っていきたいと思います。
0:35:38	ちょ、質疑。
0:35:46	規制庁の井藤です。
0:35:50	細かい規制もちょっと含めて確認させていただきたいんですけど、まず、5 ページ目。
0:35:59	この資料中で、地下水排水設備と地下水排水設備括弧既設ってあるんですけど、これなんか括弧ありなしの査定。
0:36:08	ちょっと教えて一応記載はあるんですけどいまいち括弧をつけてるのとつけてないのさがいまいちよくわかんなかったんで教えていただけますか。
0:36:18	はい。北海道電力の伊藤でございます。
0:36:22	既存の括弧既設の方はですね、
0:36:25	今我々が現場に有している既設の地下水排水設備ということで、添付資料1に示している設備、
0:36:36	全体をさせたものでございます。
0:36:40	で、その前の地下水排水設備、
0:36:43	括弧なしのものはですね、今後、包丁で、ある前提で、排水機能を担ってもらう設備として、
0:36:54	一般的な書き方として、記載しているもので、
0:37:03	あれですかね、これだと。
0:37:05	ここに書いてある通りで伊藤さんのご理解をられないのかもしれないですけども標準的な一般的なものとして、
0:37:12	ただ、必要な機能を持っているものとして地下水排水設備括弧なしを定義したというそういうつもりでございましたけれども、お答えになってますでしょうか。
0:37:23	規制庁伊藤です。
0:37:25	そうですね。何となく言わんとしてることはわかりました。
0:37:30	衛藤。
0:37:32	ちょっと、
0:37:33	この

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:35	この季節ってついてるのは
0:37:40	その耐震化とかそういったことを考える、考えたりは強いてない今の現状のものを言ってい。
0:37:50	この上の地下水排水設備って言ってるのは、
0:37:54	設備要件とか検討した上で、こういった考慮が必要だよなっていうこれも踏まえた上でいる、何か対策が必要だったら、
0:38:03	いろいろして、できたものがこの地下水排水設備、括弧なしっていうことなんですかね。
0:38:10	はい。基本的な理解としては一致しております。
0:38:16	はい記載の内容はわかりました。
0:38:19	あと、
0:38:22	6 ページなんですけども、
0:38:31	6 ページの 2 ポツ目のところ記載っていうのは、とそもそもこのページはこの別紙、2-1 の表、
0:38:43	多分この二つのポッチで説明してんのかなと思うんですけど 2 ポツの内容で、
0:38:52	なんかちょっと違うのかなと思っていてここで書いてある内容って、その 10 メーター、TP10 メーターよりも上の話を言ってるんですかね。
0:39:04	シンプルに 2-1 の表を読むと、
0:39:08	1 ポツの内容と、
0:39:11	10 メーター盤は地表面に設定します。それ以外の施設は、
0:39:16	1 メーター以上のですね、それ以外の施設は
0:39:21	解析。
0:39:22	結果に基づいて設定しますみたいな表だと思ってるんですけど、この記載ってどういう、記載なんですか。
0:39:31	はい。北海道電力の伊藤でございます。ちょっと、
0:39:35	6 月 23 日の資料、地下水設定側の資料から、
0:39:41	そのまま
0:39:43	転記してきたつもりでおったんですけども、
0:39:46	すいませんちょっと記載が
0:39:50	お菓子 2 ポチ目っていうふうに今おっしゃっていただいているのは、ハッチングの下のポチのお話でよろしいですか。
0:39:57	原子炉建屋等の修繕施設等については、
0:40:00	期待せず、
0:40:02	予測解析を行い、改めて設定した上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:06	こういう捌いておいても、
0:40:10	この値設計する方針とする。
0:40:12	ということで、
0:40:14	この
0:40:16	2 ポチ目っていうのは青ハッチングしたで、表で青ハッチングかかっていないところに、
0:40:21	適用されるポチということでございますけれども、
0:40:26	地表、
0:40:27	それが地表面の場合もあるし、
0:40:30	自然水に基づき設定をする場合もあるということなのかなというふうに理解しておりましたけれども、
0:40:40	本店側すいません
0:40:44	設定方針の方、もしいらっしゃったら少し補足いただけると嬉しいんですけどもいらっしゃいましたっけ。
0:40:50	はい。北海道電力の河村です今は弊社伊藤が言った通りの理解なんですがこれ
0:40:57	6月の審査会合で示したものをそのまま書いてはいるんですが6月の審査会合で設定方針を示す上で、まずはこの方針でせ、設計の基本方針をこうした上で、
0:41:11	改めて予測解析を確認して設計値河成を設定した上で、云々って書いてるんですけどもそのあとに概略の3次元浸透流解析をやると、順番はほとんど地表面近くになるんで、
0:41:26	結果としても、地方順番のエリアについては、もう地表面に設定して、そこで、今後、新鳥飼生が改めて云々というよりは、
0:41:36	ここでもう、地表面に設定っていうのを決めてしまいましたよと、順番より上のところは、改めてですね工認、あの段階で予測解析をちゃんとやって、それによって自然水で、
0:41:47	水位を設定していくということを、6月の審査会合でお示ししておりますちょっと持ってきた文章がですね6月の説明ストーリーの序盤に書いてることを持ってきてるので、
0:42:01	ちょっと誤解を招いてるのかなとは思いますが、そういった理解になりますよろしく願いいたします。
0:42:08	はい、規制庁の伊藤です今口頭で説明いただいた内容の理解を私もしていたのでちょっとこの記載だけだとそこが読み取りづらいのかなと思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:19	ちょっと正確に書いていただいた方がいいかなと思います。
0:42:24	北海道の伊藤でございます。承知いたしました。少し
0:42:28	省略して持ってきてしまっていて、の繋がりが悪いというふうに理解しましたので、
0:42:35	あまり省略せずに、丁寧に書き込むような記載にしたいと思います。ちょっと河村さんとも調整しながら進めたいと思います以上です。
0:42:46	はい。規制庁の伊藤ですあとこれも記載だけなんですけど、10ページの、
0:42:53	1ポツ目のところの比較的短時間で記載なんですけど、ハーン、この資料の本文の中でも、約1時間とかいうワードも出てきてるので別に、
0:43:06	約1時間って書いてもいいんじゃないのかなと思うんですけど、いかがですか。
0:43:13	北海道電力の伊藤でございます。
0:43:16	はい。比較的短時間ってという言葉を使った何か短いことをあまり赤裸々にという気持ちが働いたということだと思いますので、
0:43:26	約1時間ということは後段資料でお示ししてございますので、伊藤さんご指摘の通り、
0:43:33	同じものだということがわかるように、
0:43:36	約1時間というふうに見直したいと思います。
0:43:40	規制庁の伊藤です。
0:43:42	あと、ちょっと確認させていただきたいのは、
0:43:48	24ページの内容なんですけど、
0:43:59	最後のマター書きで出てくる、可搬型水中ポンプ、
0:44:05	なんですけどこれの位置付けって、自主設備みたいな位置付けになるんですかね。
0:44:15	北海道の井戸でございます。
0:44:17	今可搬型水中ポンプということはものは資機材、
0:44:24	扱いということで、我々考えてございますので、
0:44:27	すいませんこちらも7項には、反映したんですけれどもこちらに記載がないので、そこを追記したいと思います。
0:44:52	北海道の伊藤で38ページ。
0:44:54	の、可搬型聖獣ポンプの配備についてというふうに下のところにございまして、
0:45:03	一つ目のポチですね、資機材として可搬型水中ポンプを配備すると。
0:45:08	ということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:10	9月22日島根の方で設工認の同じような審査されているん記載も参考に、今こういう書き方をさせていただいてますけれども、
0:45:19	これ上段の方で反映できてませんでしたんでそこは見直そうというふうに思います。
0:45:28	わかりました。
0:45:34	ところの地下水排水設備。
0:45:38	機能する機能を維持するために、
0:45:43	99条と4条の適合状況の地下水排水設備は必要ということなんですよ。ね。その中で、
0:45:52	可搬型水中ポンプっていうのは、基準適合上必要になってるものなんですか。
0:45:59	9条は、また九条でお示しするということで記載させていただいてますけれども、どちらもですね、これに何か規制基準適合上の機能を期待しないという方向で整理しようというふうに我々考えてございます。
0:46:14	わかりました。
0:46:17	それとあと、2時25ページ。
0:46:23	ちょっとこれも多分
0:46:25	球場側の審査とかの話にもなるんのかなと思ったんですけどちょっとこの配慮事項の中身が、
0:46:32	中身でちょっと教えていただきたいのが、この内部火災と内部溢水の中で配慮事項として挙げてる共通要因故障に配慮した配置っていうのは、
0:46:43	これ排水ポンプの部分で何か配慮事項が書いてあるんですけど、
0:46:48	何かそう考えられてる配置ってどんな感じなんですか。これなんか、何ですかね区画をこう分けたりして配置したりってそういうことなんですか。
0:46:59	はい北海道電力の伊藤でございます。
0:47:02	内部事象への考慮につきましては、
0:47:05	まずこれら、地下水排水設備というのが、
0:47:13	規則で定められている、例えば火災防止設備施設、溢水防護対象設備なのかというと、そうではございませんと。
0:47:23	ただ、重要な設備であることは我々の分析から明確になってございますので、
0:47:29	何かしら設計上の配慮が必要だと。
0:47:33	こちらに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:34	共通要因故障に配慮した配置ということにかについて書いてますけれども、
0:47:40	ライブについては、まずポンプは同じ場所にありますが、
0:47:47	なので仮に電動機とか、水没すると両方駄目になると思いますけれども、そういう水を一切生じさせない、
0:47:57	水源側で、
0:48:00	対応をすると。
0:48:02	あと、火災に関しては、
0:48:05	例えば火災、
0:48:08	消火がそうか、設置された区画に置くとか、あとは隣の仮にモーターですとか、機器類が、
0:48:19	何かの理由で燃焼した場合に、隣のもう一つの機器に影響を及ぼさないことを、評価で確認していくとか、その評価で、
0:48:29	駄目な場合はやっぱりすべてガス消火の設置等も必要なのかなというふうに思いますけれども、
0:48:35	ちょっと
0:48:36	本来溢水防護対象とか火災防護の範疇に入るとそういう、の対応というのは難しい部分もあるのかと思いますけれども、
0:48:47	この設備に関しては、そういう少し拡張を性を持たせたその対応で、
0:48:53	溢水防護、火災防護っていうのを達成することを今目指してると、そういうものでございます。
0:49:00	はい、わかりました。なんか、今の話だと溢水側だと配置というよりは、
0:49:05	わしシンプルにその内部溢水に対して機能喪失しないようにしますみたいなそういう話なのかなと思ったんですけど。
0:49:12	北海道の伊藤でございます。ありがとうございますおっしゃる通りちょっと
0:49:17	この表もかなり使う、使われている表で、少し考え足らずなところがあったと思いますので記載を見直したいと思います。
0:49:27	はい、わかりました。
0:49:31	あと、ちょっと簡単な記載なんですけど 48 ページとかがいいかな。
0:49:49	他のページでも幾つかこういう
0:49:53	底面レベルの図示があると思うんですけど、ここの
0:49:58	例えば原子炉建屋と、添付N01-4- (1) 図だって言えば原子炉建屋と原子炉補助建屋の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:10	間というか、ちょっと下に濃いグレーの部分があると思うんですけど、ここも何ですかね凡例みたいなのをつけていただきたいと思うんですけど、いかがですか。
0:50:23	北海道の伊藤でございます失礼いたしましたMMRなんですけれども凡例どこにもございませんので追加いたします。はい。
0:50:32	多分こういった図いっぱい使ってると思うので全体的に凡例つけていただけたらなと思います。
0:50:46	ちょっと戻って、
0:50:48	戻るというか、63 ページ。
0:50:51	一応ちょっと確認してい。
0:50:54	おきたいのが、
0:51:05	これもちょっと溢水ともちょっと絡みあるのかなと思うんですけど、電気建屋内、
0:51:13	今
0:51:15	一次系放水ピットを經由して、排水は
0:51:18	もし、徒歩水路が閉塞したら、敷地に流れてきますよっていう、説明だと思うんですけど、この電気建屋内は、放水ピット除く部分は、
0:51:32	浸水しないっていう理解でいいんですか。その浸水を想定してる範囲。
0:51:37	としては、
0:51:39	こっちの白い部分ですか。は特になんかという理解でいいですかね。ちょっと確認したいのはその浸水、湧水ピットエリアの方に何か、
0:51:49	水が流れていって、例えばさっきの溢水防護みたいな形ですけども
0:51:58	ポンプが水没して機能喪失するようなことはないですよっていうその確認だけなんですけど。
0:52:05	はい。北海道の伊藤でございます。後半の部分については、
0:52:12	今この添付 4-3 図でお示ししてございます左側の原子炉補助建屋でございますけれどもこの中に、
0:52:21	湧水ピットポンプピットエリアがございますけれども、
0:52:24	この壁外壁というのは、すべて水密をとっているものでございますので、
0:52:31	仮に、今、電気建屋でお示ししている白い部分ですね、原子炉補助機冷却海水系統があるようなエリアが、申請したとしても、その水が、
0:52:43	原子炉補助建屋側に伝播することはございません。
0:52:47	はい、ありがとうございますわかりました。あとは同じページで、この図で言うと今、改正法水路が閉塞した場合の図ですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:58	津波時、もうこれって、
0:53:00	この地下水の排水っていうのは、
0:53:04	どのような形になるんですかねこれ、同じように敷地に漏れていくような感じになるのか。
0:53:11	放水ピットに、
0:53:13	なんすか敷地、
0:53:17	食う、この開口部の高さにならないことを想定してるから、ピットの中にたまりますっていうことなのか、どっちなんですかね。
0:53:29	はい。北海道の伊藤でございます伊藤さんのご質問に関しては、
0:53:34	現時点で確定的にその濃度推移がどうなるのかっていうのはお答えできないですけども、今、今の想定としましては、
0:53:42	ちょっと津波の話にもなりますけれども、
0:53:46	3号放水ピットの流量縮小、
0:53:50	よって、この一次系放水ピット等に遡上する、
0:53:55	津波の水位っていうのを低減しますと、
0:53:59	その上た今図の4添付4-3図で示している右下の、
0:54:05	矢印で津波が敷地に出ていくことは当然なくしますと、
0:54:11	その状態がある状態で、その状態で地下水が入ってきたときにどうなりますかということに関しては、そちらも、
0:54:20	米量が少ないこと簡潔であること等も踏まえて、
0:54:24	原子炉補機冷却海水放水量側の方のSEは上がってますけれども、そちら、そちらと一緒に、また、
0:54:34	水が引いて流れていくのかなというふうに考えている次第です。
0:54:40	わかりましたこういうなんか排水いい。
0:54:43	他にもこの補機冷の海水系統の排水とかもあると思うんですけどそういったものも、
0:54:48	含めても、いかないように、
0:54:53	工夫するとかそういうことを考えて今、津波が一考えてるっていう、そういう理解でいいですか。
0:54:59	はい。北海道の伊藤でございます補足いただきましてありがとうございます。まさに地下水よりも、
0:55:05	ここに太い配管刺さってる補機冷の方がかなり支配的ですのでそちらの流れ込みも当然踏まえた上で、敷地の外に出ないということを今、
0:55:16	設計条件としてるというふうに理解してますけれども
0:55:20	本店側で、津波、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:22	今の私の発言に修正が必要であればお願いします。
0:55:37	なさそうなのではいけません。ありがとうございます。
0:55:40	すいませんちょっとちなみについてことで津波の話聞きましたけどあと1点だけ
0:55:46	65 ページ。
0:55:52	この添付資料の5の、
0:55:55	ちょっと表題なんですけどこの現行能重要度分類上の位置付けの整理ってということでこの現行のっていうのは何、どういう意味なんですか。
0:56:07	記載の意味だけ聞いてます。
0:56:11	はい。すいません。北海道の伊東でございます。質問の意味も、
0:56:15	理解しておるんですけども、
0:56:19	えっとですね確かに重要度分類上の位置付けの整理の方がより適切なのかなというふうに今、
0:56:26	思うところもありまして、すみません
0:56:29	ちょっとな流れというか、先行のものを、のタイトルを今、少しそのまま活用させていただいてるところも実態としてございますけれども、
0:56:39	今、重要度分類、
0:56:42	指針ですとか、あとは耐震重要度の規則側の
0:56:48	分類で定められているにて、ものに照らしてどうなのかという意味で現行のというふうに変えているのかなというふうに書いておりますけれども、少し
0:57:00	5席踏まえまして、適正化が必要であれば考えて参りたいと思います。わかりました特に深い意味がないということで理解しましたので。はい。私からは以上です。
0:57:16	鷺見。規制庁の三浦です。ちょっと私の方から幾つか確認をさせていただきます。
0:57:22	31 ページですか。
0:57:29	31 ページに、
0:57:33	この表5-2の表で見ると、修正議論を、この部分に分類として解析、37 ページでよろしいですか。はい。
0:57:44	31 ページ。
0:57:49	はいですか。31 ページの表5-2の表見ると、
0:57:54	修正機能で分類で解析机上評価ってという言葉ありますよね。この基準評価って何を。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:01	示してますか。
0:58:04	はい。北海道の伊藤でございます。
0:58:06	机上評価というのは、
0:58:11	えーっとですねその集水管の動圧を、
0:58:15	藤阿藤地震のその上載荷重が乗ってるとき、上、上に土が乗っている時の鉛直のその加速度を加えたときに、どのぐらいたわんで、
0:58:26	どのぐらいそれが設計上の許容値を満足しているのかというようなところを評価するのは、机上評価にもなるのかなというふうに思いましてそのように書かせていただいていますで、
0:58:40	解析ってか変えているのは、今私が申し上げたようなことを解析でやられてる者さんもあるってことは認識しているので、
0:58:48	その解析もありますでしょうし、あと前回江崎さんからコメントいただいています局所安全率、
0:58:56	お話というのは解析になるのかなということで、今このような二重の記載になってるという状況でございます。
0:59:03	木曾常務わかりました解析と評価ってことなんですね。
0:59:07	具体的な総合ってというのは右側で書かれていて、右上書かれてるのはもう、
0:59:12	あれですよ、基準地震に対して大丈夫だって同じ項目なのにここに基準評価で出てくるのはなぜかなと思ったんですけど、解析及び評価ってことなんですね。
0:59:22	北海道の伊藤でございますありがとうございますと。確かに
0:59:25	説明なしで、その心を読み取るのは無理な記載でありましたので、今の三浦さんのご指摘も踏まえて、少し見直そうと思います。ありがとうございます。はい。よろしくお願ひします。あと43ページかな。
0:59:43	43ページでこれまた電力の比較、これちょっと前からも気になったんですけど。
0:59:49	女川と島根ありますよね。
0:59:52	これもうちちょっと正確に書かれた方がいいと思うんですね。
0:59:56	女川は、既設のドレンも考慮してるんですよね。新設プラス既設なんですね。
1:00:03	島根は、既設は全然考慮しないで新設だけを考慮したんですね。
1:00:10	ですからここ例えば、もうちょっと正確な表現にしようと思うと、
1:00:16	上から五つ目の項目の設計地下水ってところで、
1:00:21	女川の場合は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:22	地下水位低下設備新設プラス既設なんですね。
1:00:29	島野の場合は、
1:00:31	地下水位低下設備新設なんですね。
1:00:35	阿藤下から3番目の、
1:00:40	保守管理するかな。
1:00:42	保守管理制度女川、既設において、保守管理性が、
1:00:48	ほぼ保守管理が可能なものは、集水管を考慮しているんですね。
1:00:55	一番下の図もこれあれですね既設のものと新設のものってちゃんと明示した方がいいですね。上尾家側にマット下にあるのが既設で、
1:01:06	その下に何か四角で書かれてる深いところにあるのが新設ものですね。
1:01:12	この辺のところもきちっと表記を加えてたらいいと思いますんで、
1:01:16	島根の場合は、今ここで基礎下のおドレンを記載してますけども、この季節としてこれはでもただし考慮しない。
1:01:26	ていうのが正しい表現だと思うんですね。
1:01:29	ちょっと全般的に先行機はきちっと表記をしておいてください。もう一度確認をして、
1:01:38	北海道の伊東でございます。ご指摘ありがとうございます
1:01:42	いいわけでございますすべて、おっしゃる通りのことで確かにそうそうであったなと認識をしつつ、この表に適切に反映できなかったことを反省しております
1:01:54	すべておっしゃられた通りかと思しますので、切りのないように修正いたします。
1:02:00	はい。規制庁の三浦ですよろしく申し上げます。
1:02:04	阿藤 48 ページなんですけど、
1:02:09	48 ページで添付 1-4 の (1) 図ってありますよね。
1:02:15	そこで、TP-4.5 配管中心っていうふうに記載されてますね。
1:02:23	これは配管中心じゃなくて配管はパーじゃないですか。
1:02:31	北海道の伊藤でございますちょっと
1:02:35	今、図面がございませんので、改めて確認して、お示ししたいと思えます。刀禰は、その 57 ページのちょっと拡大図があるじゃないですか。
1:02:46	それをちょっと見ていただきたいんですが、
1:02:49	右側の表記の時に TP4.5 は修正川場って書いてあるんですね。
1:02:56	多分これ正しいと思うんですよ。
1:02:58	窓そうすると 48 ページの語尾じゃないかと思うんで、これは記載を修正してください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:05	はい。ご指摘ありがとうございます北海道の伊藤でございます。
1:03:09	今例示していただきました57ページ側、
1:03:15	は、我々しっかり確認してこのTPで間違いないことを見て参りましたので、今おっしゃっていただいた通り、48側が、
1:03:26	間違っていると、いうことになろうかと思えます。すいません図面がないと申し上げましたけれども資料の中にありましたので適切に修正いたします。はい。よろしくお願ひします。
1:03:37	あと76ページなんですけど、今回
1:03:43	集水管間野サブドレ無理だけど集水管の
1:03:48	清掃をやりますというストーリーになってますよね。
1:03:52	これって、
1:03:54	ピッチつつうか、期間、どのぐらいに何回とかっていうのは大体想定をされてますか。
1:04:03	はい。北海道電力の伊藤でございます。
1:04:06	まず、再稼働までにすべての
1:04:12	範囲というのを1回確認したいと思ってます。
1:04:15	その後は、
1:04:16	ちょっとどのぐらいのペースで、汚れるものなのか汚れないものなのかというのが把握できておりませんので、基本的に水が流れてきてますので詰まってることはないと思うんですけども、
1:04:27	まず毎定検、
1:04:31	ちゃんと停止した、する前にですね、定期事業者検査前ですかね、に確認していくと、そういう方針を
1:04:39	定めつつ、余りに無駄なようなところがあれば、合理化するということは考えられるのかもしれないですけども、基本は前、定期事業者検査前というふうにご考えてございます。
1:04:53	わかりました。
1:04:55	特にあれだと思んですがスターカード前に、とりあえずこれでやってみて、
1:05:00	あとはもしかしたらあるかもしれませんがね集水量が落ちてきたりとかいうことがあったらぐらいでもいいかもしれませんがね。
1:05:08	それも念頭に置きてください。結構大変だろうと。
1:05:14	どんなもんですかはい。
1:05:15	北海道電力の衛藤でございます。点検孔がですねどうしてもそれほど費、潤沢なその作業スペースの確保できない見通しでございますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:28	できれば
1:05:29	あまり現場の作業に負荷がかからないようにというふうなおっしゃられているところは、大変ありがたいと思います。まず一番できる最短の期間で、
1:05:40	確認しつつ、将来的にそのような改善ができれば改善ではないですね高齢化ができれば、検討していきたいと思います。ありがとうございます。わかりました。とりあえず今、
1:05:53	再稼働自身1回やってます後そのあとはちょっと状況を見て、今後決めていきますというふうに理解しました。それで結構だと思います。
1:06:02	あとこれは
1:06:05	質問ってことでもないん、コメントってことはないんですが、例えば6、58ページかな、58ページですね。
1:06:16	これも確かに58ページ1時間8分って数字出てるんですよ。で、
1:06:23	9.3立米ぐらい、これ、集水管も含めてあとピット残り容量ですね、それを詳しくは取ると9.3立米ぐらいあって、
1:06:32	想定湧水量っていうのは解析結果で172.1、これニチイなので、これから出てくるのが1時間は、
1:06:40	という数字で、これが非常に短くて、この期間でいろいろ対応ができないからってストーリーになってますよね。
1:06:48	これ例えば、
1:06:52	設計用圧力を0にするっていうことを念頭に置いて、こういう評価をされている。
1:07:01	ところが、ここの中でもいろいろ前から、ちょっと他のプラントに気にはなってるんですけど、
1:07:08	水圧が大きくなると、耐震性に影響が出る可能性がある。
1:07:14	という言葉があるんですね。こん中にも何回も出てくるんですけど、
1:07:18	ただちなみに、
1:07:20	陽圧力って、少々大きくなっても基礎スラブの責任はほとんどきかないんですよ。
1:07:26	例えば、だから、今、
1:07:28	これ故障時っていうことを念頭に置いているので、
1:07:33	例えば今設計はよう圧力0でやるけども、
1:07:37	基層上ぐらいまでよう圧力入っても、構造的に大丈夫だっていう確認をすれば、多分これ時間って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:46	もう1週間どころか、1ヶ月ぐらいの数字がタップポーンと出てくるんですよね。
1:07:52	そんなことってお考えになられてました。
1:07:57	北海道電力の衛藤でございます。
1:08:02	はい、同じ墓石をですね、かなり4月か6月の時に承っております、弊社内で少し検討した経緯というのがございます。
1:08:14	その時には、
1:08:17	今三浦さんおっしゃっていただいたような、
1:08:20	かなりの猶予が増すってような結果にはならなかったかなというふうに今記憶しております、ちょっと建設建築さんすいません今のお話、少し、
1:08:32	昔、同じコメントをいただいた時の対応状況も踏まえ、含めてですね可能な範囲で、
1:08:42	情報的だけたら助かるんですけどもいかがでしょうか。
1:08:49	北海道電力の大澤です。今のお話ですが
1:08:57	近づいによってよう圧力が、採用した時に迷う圧力がかかる力ですんでまああの、つ長期で考えた時には自重に対して上向きでそうさいする側ですんで基本的には
1:09:09	大きく影響することはないかなと思っております。ただそのプラス、その地震時っていうところで考えると浮力、
1:09:15	河成をしてさらに地震力勢力がかった時についていう時には
1:09:19	今現状あまり裕度としてはないのかなというふうには考えておりますので、基本的には基礎下に地下水を納めるとというのが
1:09:28	前提条件になるのかなということでこういう整理になってると、いうふうに理解をしております。
1:09:34	規制庁の三浦です。
1:09:36	おそらく今言われているのは、浮力考えちゃうと基礎サブの売り上げ領域が増えちゃうんで、どちらかと厳しいのは、機器の基礎のせん断。
1:09:46	梅村さん弾力が厳しくなってくんですね。
1:09:48	それがあんまり余裕がないから、
1:09:51	というご説明ですか。
1:09:59	北海道電力の大澤です。
1:10:02	まず麻生です最終的にあまりS sも決まった上での評価になると思っておりますが

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:08	そうですね日中、十分に余裕があるかというところなかなか難しいのかなというふうにちょっと考えておりました。
1:10:15	以上です。規制庁の伊井です。その辺って数字的に確認なんかされたんですか。
1:10:23	北海道電力の澤です細かい数字まではちょっとまだ手元にはちょっとなかったのですぐに倒壊等ができなかったんですけれども、
1:10:31	というところです。
1:10:32	松葉のSSの、最終的に決定した数値も踏まえてちょっと確認をしていきたいと思います。
1:10:39	規制庁の矢田です。今のお話伺っていると私の理解は、
1:10:43	基本的には浮き上がり、陽圧力を考慮すると、基礎の徹系が厳しくなるだろう。それ正しいですね。今現時点ではその辺のところの検討をされていないので、
1:10:55	あくまでも設計地下水を、
1:10:58	地下、基礎スラブ低迷に置いておくっていうことで、
1:11:03	許可段階は進みたいっていうこと。
1:11:06	と理解しました。そういう理解でいいですか。
1:11:10	北海道の井戸でございます。ありがとうございますその理解で結構でございますが、
1:11:16	あと
1:11:18	かなり三浦さんがおっしゃっていただいている時間的な裕度の相場感と、我々が今お示ししている回答に、僕が言うのもおかしいんですけれども、少しくう、
1:11:31	落差があるというか、差異があるような気がしますのでそれは社内でもう少し確認した上で、必要に応じてというか、今、すごい短い時間を示してますんで、
1:11:41	それを少し緩和できるような材料になり得るのであれば
1:11:45	前向きに取り入れていきたいなというふうに思います。
1:11:48	はい。規制庁の梅田です。
1:11:50	ちょっと思ったのはこれ、全然腰側の設定なので、今の電許可段階ではもう本当に十分な更新だと思うんですよね。
1:11:58	ただ実際1時間8分じゃなくて今後工認段階か何かでチェックしていくと、浮力の影響っていうのがそんな大きくないって多分出てくると思うんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:07	そうすると、1時間8分じゃなくて実力値は、おそらくそんなに水上がないですよ、170 ぐらい出てたって、
1:12:15	だから1メートルぐらいの浮力見たって十分1ヶ月ぐらいの数字出てくると思うんですよ。その辺のところも今後あわせて説明されると、予下よりですね、保守性が確認されるんじゃないかなと思います。
1:12:28	これも単にコメントではなくてアドバイス。はい。
1:12:32	北海道電力の伊藤です建築部門の人間等も改めて、状況確認してはい。アドバイスを
1:12:41	生かせるように努めて参りますはいありがとうございます。はい。よろしく申し上げます私は以上です。
1:12:54	規制庁宮尾です。まずちょっと記載ぶりだけ8ページ。
1:12:59	のところに、
1:13:00	これ別紙10って言葉があるんだけど、これ今回の資料に別紙10はついてないのでこれ使うと不適じゃないですか。
1:13:10	はい。ご指摘の北海道の伊藤でございます。ご指摘の通りでございます、
1:13:14	パワーポイント側の資料につきましては、呼び込みは、6月23日にお示ししている地下水の設定方針のパワーポイント資料審査会合資料を、
1:13:26	リファーするように改めたいというふうに考えてございますでワード側ですね、冒頭申し上げたんですけれども、まだこの別紙10をですね、ご提示できてない状況ですので、
1:13:37	地下水のはヒアリングに合わせて、別紙10のほうもあわせてご提出するという今考えているところです。
1:13:44	はい、じゃあよろしく申し上げます。あとですねちょっと全体的な考え方としてまず、私の方から言うのは、その季節季節に合うか合わないかっていう議論を多分してるわけではなくて、
1:13:56	どういう設計であるべきかっていう議論をした上で、それが既設に使えるんだったら使えるっていう話でしかないので、今のこの資料の所々日本語が、
1:14:06	季節に合わすためにとかで、既設が使えるかどうかの確認としてやってるっぽく見えるので、基本設計方針じゃなくてここの今の議論というのは、
1:14:17	あくまでもな、どういう機能が必要でどういう設計方針であるべきかっていうのを見据えた上で、今の現状の例えば既設のここ言っている、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:27	給水ポンプのニュースピットなりが使えるっていう最終判断でしかない ので、何かこの資料自体が、そこを確認しにいつてるように見えるの で、そ、そうではないという認識で書いてもらった方がいいかなと思う んですがいかがですか。
1:14:42	はい。
1:14:44	北海道の伊藤でございます。ご指摘の内容は理解いたしました。まさに 今宮本さんおっしゃってくれたたてつけで、資料を整理しているつもり でおったんですけども、
1:14:56	どうしても我々季節をどう使っていくのかっていうところにフォーカス してしまう。その気持ちが、資料の言葉じりですとか表現出ているのか なと思います。
1:15:07	氏原さんから冒頭いただきましたその相関を考えていく中で、どうい う
1:15:14	下側の方も、本文側の方もどういう記載が適切、適切なのかというの は、また改めて考えることになろうかと思っておりますので、それに合わせ て、今おっしゃられたことを反映して参りたいというふうに思います。
1:15:26	はい。お願いします後、ちょっと細かいところで15ページにいくと、
1:15:30	これ分析1のところを、これ否定するつもりはないんですけど、
1:15:34	外部事象に対する分析では地下水排水設備はすべて構成部位が屋外に設 置されてる状態を前提とするっていうのは、これ、現状と余りにもか け離れた。
1:15:44	うん。
1:15:45	し設定になってるような気がしていて、
1:15:48	これなんで奥川様は、先行の2社は、サブドレンというか地下水排水設 備っていうのは外にあるから当然こういうふうな表現になってると思う んですけど、
1:15:58	泊の場合は、要はほとんどが屋内であれば、屋内想定にすべきだと思 うんですけど、ここを屋外にしてる理由っていうのは何かあるんですか。
1:16:10	はい。北海道の伊藤でございます。
1:16:13	確かに
1:16:14	既設の活用を前提にすると屋内というところから入るのが通常かなとい うふうに思います。一方です。
1:16:25	我々の設備要件として定めるときに、
1:16:32	標準的なものがどちらなのかという話にもなろうかと思っておりますけ れども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:37	屋外で影響を受けやすいところを前提にして、影響する、機能喪失要因を
1:16:45	すべて抽出した上で、その上で、屋内に配置するのか防護対策を施すのか、そういう対応というのを考えた方がいいのかなと思ひまして網羅的に機能喪失要因を抽出する観点で、
1:16:58	外にあるという前提を置いてますけれども、
1:17:03	他社、他社さんでもそのようにしているという部分も多分にございますので、ちょっとどのような整理がいいのかというのを改めて考えます。
1:17:12	宮です。なので、確かに既設と既設通りっていう話ではないとは思ひうんだけど、現実的にスペックとしては、
1:17:22	作ったとしても同じような例えばポンプの位置に大きいポンプを他作るとか、ドレンを作るとしても、結局はその湧水ピットタイプしか、今現状考えてないんですよ。
1:17:34	先行の、例えばBWRみたいに外にサブドレを置くみたいなことは、基本的には考えてないのであれば、いやそれは現実ベースでここはしっかり評価された方がいいんじゃないかなと。
1:17:49	北海道電力の伊藤でございますご指摘ありがとうございます。少し迷いがあつた部分でもござひまして、今のご指摘も踏まえて、
1:17:59	兵
1:18:00	このフィルターの書き方というか前提条件の整理を改めて考えたいと思ひます。
1:18:07	規制庁宮部そうじゃないと多分 25 ページとかに行くと、これ中身別に問題ないと思ひうんだけど、台風と竜巻が一緒になって書いてあつて飛来物対策に綺麗な機能維持って書いてあるんだけど、これは基本的に建屋、
1:18:20	要は原子炉補助建屋にあることによって、機能が維持されると。
1:18:25	ドレンとかは当然地下だからその影響与えないんだから、ここの書き方が全然変わってしまうんですよ。
1:18:31	だから、例えば積雪だって、積雪対策に綺麗な機能維持じゃないですよ、建屋の中にあるんだから。
1:18:39	影響受けないですよそもそも対策をし、実施した建屋の中に設置するんだから、
1:18:44	それでこういうところが全部こうそごが出ちゃうんですよ。
1:18:48	だからそういうところを、要はしっかりその自分たちのプラント、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:53	オリジナルをもって解雇変えていかないと、選考に合わせすぎると、こういうふうの外についているサブドレンと同じような記載をここに持ってきてしまうと。
1:19:03	要は内容が全然変わってしまうので、そこはよく確認してください。いいですか。
1:19:09	はい。北海道電力の伊藤でございます。
1:19:12	はい。繰り返しになってしまうところもございますけれども、まず、
1:19:18	一番不利な条件にあったところから、
1:19:22	どんな対策が必要なのかっていうのを、どんな配慮事項が必要なのかというのを整理した上で、
1:19:27	我々の季節に当てはめたときに、それはもう屋内にあるから大丈夫ですっていう何かそんな整理で今、示していますけれども、そこはわざわざ、
1:19:39	外にあるものっていうのを前提に置かなくても、自分たちである程度目指してる方向性を踏まえた上で前提条件というのを設定した上で、そうしますと、この46表というのは実は、
1:19:51	ほぼ法なん、なくなるというか、竜巻とか自然現象に関しては、屋内配置を前提にすると何もそういう強いなくなると思いますので、かなり薄くなると思いますけれども、
1:20:02	そういう方がより、我々がやろうとしてることに對して適切な見せ方なのではないのかという問題提起というふうに受けとめますので、
1:20:13	少しそういう方向も含めて検討したいと思います。田口の方から、
1:20:18	あります。
1:20:21	北海道田口。
1:20:23	です。
1:20:25	皆さんおっしゃっていただいたこと実は社内でもちょっと議論したことがあります、
1:20:30	そもそも屋内にある湧水を活用していくっていうつもりであればここも完了してるんじゃないのっていうことで最初の分析のところ、
1:20:39	機能喪失要因から落ちていくんじゃないかというような話をしたことがあります。
1:20:44	ただ、先ほど伊藤が申した通りでして、ひよっとしたら外付けのドレンじゃないと対応できないっていうことも想定すると、先行Bでやったようなフルスペックでやるのがいいんじゃないかということで今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:56	まとめているというところですけどもおっしゃってる意味は、非常によくわかりますので、
1:21:01	考えたいと思います。
1:21:05	いや、
1:21:07	そういうことはします。はい。
1:21:10	はい。それと後なんだけど、これさっき内部火災と内部溢水のところ、伊藤からの質問あったと思うんですけど、多分中身をよく理解されていないで回答してると思うんですよ。
1:21:21	これね。
1:21:22	内部火災と内部溢水については、多分これ、
1:21:26	他社のBWRは、こういう共通要因を配慮した配置ってことで、別々に配置したりなんだから、こういう記載があるんだけど、
1:21:34	じゃあ、屋内に設置する。
1:21:37	今回の湧水ポンプっていうのは内部火災にどういう対応してるんですか つつたら当然、感知消火、
1:21:44	影響軽減が対策にならないんだと感知消火で対応してるっていうのが回答になるはずなんですよ。
1:21:49	溢水に対してもそうで、
1:21:52	想定想定なのか、地震による溢水なのか。
1:21:57	消火に、消火消化に対する溢水の過去3種類あると思うんだけど、それに対して機能喪失を想定してるのか想定してないのか。
1:22:06	ていう整理をしないと、この中身でこのまま話と違って、要は何をここで説明しようとしてるかっていうのがよく理解されないでこのまま書かれると、
1:22:18	共通要因故障を配慮した配置で当然でしたら、別々の位置に配置してくださいよっていうのと、あと、同じ湧水本PUCピットに入ってるポンプを真ん中を割ってくださいよと。
1:22:31	要は、系統分離してくださいよっていう話と、要はよく似た話になっちゃうわけですよ。
1:22:37	なのでこの内容というのはよく理解された上で、ここを変えていかないと、要は今私の認識だったらこの共通要因故障に配慮した配置ってことは、ちゃんと配置を別々にしてくるんですよと。
1:22:49	A系B系を上げてくれるんですよと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:52	でもそういうところも全部配慮されたものになるんですよっていう認識を持つので、そういう意味でこの記載ってのはよく考えていただいた方がいいかなと思うんですけども。
1:23:02	北海道電力の井藤でございますご指摘ありがとうございます。確かにこの配置にフォーカスした記載内容ですと、
1:23:11	区画分離を完全に達成してるようなそういう誤解を招くということはおっしゃる通りだと思いますので、先ほど伊藤さんから、
1:23:21	ご指摘いただいた内容で機能喪失させないということがまずあって、
1:23:25	そこを書き込んだ上で、どのようにそれを実現するのかというところ、ちょっとこの表になるかですね、後段の5ポチになるのか
1:23:35	心地が我々が既設でこうやろうとしていることの反映内容ですので、そちらの方に反映するのか、宮本さんのご指摘は十分理解できますので、
1:23:46	適切に対応して参りたいと思います以上です。
1:23:49	はい。あと35ページにいてこれ安全重要度の話になっています。これ、注意してもらいたいのはこの中身は私も理解してるからいいんですけど、
1:23:58	間接関連系っていう表現は、重要度分類指針ではしてませんので、これ間接関連系って言うてしまうと、次事業者の方で今運用されている弱の表現。
1:24:11	を持ってきてるようにしまってしまうので、これはここで必要な関連計画間接関連決定し生じるのでここでオリジナルとして元持ち持たれてるようには見えはするんですけど、
1:24:23	できるだけ、会合で使うときにはこういう言葉はあまり使わないほうがいいかなと。
1:24:28	思っています。いいですかね。
1:24:31	はい。北海道の伊藤でございます。今、間接関連系言葉として指針でないというのはおっしゃってる通りで、いいかって書きましたけれども、
1:24:39	それを踏まえても、ちょっと誤解を招くので、あまりワーディングとして適切ではないんじゃないかというご指摘というふうに受けとめました。
1:24:48	今ですね我々、5番目の35ページ5番目の丸の中で、間接関連系と同意の設備ということで、
1:24:58	ここで一つクッションを入れてるといっか、それと同じではないんだよというニュアンスを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:06	説明してるつもりではおったんですけども、やはりそういうことではなくてこことバーを、そのものをあまりこう、表に出さないような、
1:25:17	表現、文章を工夫した方がいいんじゃないかというご指摘としますので、ちょっとこの
1:25:24	安全重要度ぜ前た飯野季沙をどうするのかというところもありますので、その辺はまた、社内で少し検討して、修正して参ります。
1:25:35	規制庁宮部それでその下の文章がちょっとよくわからなかったんでそういう意味で、今から言おうと思ったんだけど。
1:25:43	今回は当該系より下位の重要度を有するに出されているため、地下最設備は原子炉建屋等の主要建屋に配置される自由安全施設や重大事故で完成形。
1:25:54	同意の設備として扱うってこと。これクラス1として扱うって言うように見えるんだけど、
1:25:59	これがクラスになるのは何でしょう。原子炉建屋でクラス1じゃないんですでしたっけ。
1:26:06	建屋はクラス設定がございませんので、
1:26:12	今、同意というふうに記載したのはですね間接関連系と同意ということで、間接関連系であれば、一つ下がるということで、1ではないと。
1:26:25	いう、そういう繋がり、今
1:26:28	クラス2相当というふうにさせていただいてるところです。そういう意味ですか。
1:26:34	これ同意っていうと、おっしゃる通り原子炉建屋ってPWR、明確に書かれていなくて、原子炉格納格納容器いい表現でクラス1になってて減少だってやって、多分どういう扱いなのかっていうのは微妙なんだけど、
1:26:47	その外のアニュラスがあってそれもクラス1になっていて、
1:26:52	全体でどう見るかっていうのは多分先行の審査実績私ちょっと全部見てないので減少だったら電話使ってるのかって知らないんですけどこれクラスは書いてないんですでしたっけ12条で書いてないんですでしたっけ。
1:27:04	北海道の井藤でございます
1:27:07	AとBだPWRで建屋今応札はいただいた通りで、C vです。原子炉格納容器ですとかアニュラスはございますけれども建屋については、扱いが明記されていないというのが実態というふうに理解しております。
1:27:23	わかりました。でもこの表現が、そうすると今言うてるように、
1:27:30	信頼性維持し得るために必要な関連系、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:37	で、
1:27:38	当然、
1:27:40	会議の中で有するものとみなすとされている場合も、
1:27:44	一つ落としてもいいでしょうっていう多分、例えば重要安全施設に対し、Aに対して一つ落としてもいいでしょうということでクラス2っていうふうにしてるってことですかね。はい。北海道の伊藤でございますご理解の通りでございます。
1:28:00	規制庁宮です。今、私から言うのは、いいとも悪いとも言えませんので、わかりましたっていうことしか言えません。すいませんねそこはそれ以上ちょっと言えませんので、北海道の伊藤でございます状況を理解しました。
1:28:14	重要安全施設Ⅱを、
1:28:17	支持している間接支持機能がちょっとこれ耐震の機能ですので、安全機能とは違うと思いますけれども、間接支持機能で、ほぼ、の関連系が地下水排水機能、
1:28:30	なのかなということで少なくとも当該系には該当しないと。
1:28:34	いうそういう整理をしたものでございますので、宮本さんの先ほど申し、おっしゃっていただいた通りの理解で結構です。それがいいか悪いかは
1:28:45	特に今は申し訳ないということも理解しました。はい。
1:28:49	はい、わかりましたそれで、あとちょっとね、気になったところがもう1点あって、
1:29:00	ちょっと添付資料の55ページ以降、56 ちょっとすいません59ページかな。
1:29:10	要は、これが何でついてるのかっていうのが、
1:29:13	私よくわからなくて、まずね、ちょっと私からの認識はね。
1:29:18	湧水ピット要は5060ページ61ページ見ると湧水ピットから、
1:29:23	要は伸びて、
1:29:25	原子炉補機冷却海水放水炉に比べますと、
1:29:31	そういうことだよ。
1:29:34	ありがとうございますでございます60ページでよろしいですかすいませんでした。6160、61ページ。
1:29:43	今これ議論しているところで、電気建屋の
1:29:48	耐震は、
1:29:50	何クラスですかっていうと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:53	耐震Cクラスだと思います。Cクラスの、
1:29:57	あ、ごめんなさい。
1:29:59	大澤さん、
1:30:01	よろしいですか。
1:30:05	北海道でください。今おっしゃった通りCクラスでなっております。
1:30:12	S s機能維持を、従来は建設時は
1:30:18	期待しております、
1:30:19	そのために、原子炉補助機冷却海水系統という超重要系統が、この中尾は走って言いましたという、
1:30:27	私ちょっと気にいやちょっと私の意図はね。
1:30:31	ここ原子炉補助建屋電気建屋を通して、地下水排水配管が行って原子炉建屋改正補助に上げると。
1:30:39	配置されるんだけど、
1:30:41	これCクラスなんだけど、S s機能維持された。
1:30:45	Aは、原子炉補助建屋電気建屋という認識でいいんですけど。
1:30:54	北海道電力の長田です。
1:30:56	設計上そういう確認をしていたということになると思いますが今、
1:31:02	今回においては改めてまた
1:31:04	基準地震動の方が多分また変わってきますのでそれを踏まえて改めてそこを確認していくということになるのかなというふうに考えております。本部長にも確かその記載があったと思いますのでその通りです。以上です。
1:31:19	すいません、私が聞きたかったのは、
1:31:23	設置許可における方針として、はい。
1:31:26	結果はいいですよ、数字がどうとかって言うわけじゃなくて方針として、原子炉補助建屋と電気建屋に関しては、S s機能を維持する設備として抽出するんですかしないんですかっていう質問なんですけど。
1:31:45	北海道電力の沢です。原子炉補助建屋については機能を維持する建屋として整理していくということになると思います電気建屋については、パワーポイントのですね29ページ。
1:31:57	すいません。お願いしてよろしいでしょうか。
1:32:04	ちょっと水面私から説明、言うのが適切かどうかありますかこの丸の四つ目ですね、の方に記載をしておりますが、今後新たにせず策定される基準書地震動に対しては
1:32:17	ここの耐震性を確保することを確認いたしますがそれが困難な場合には

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:23	耐震性を有する、排水配管を新規設置する等の対策を施しということで基本的には最終的に地下水の排水機能を損なうことがない設計とする、というような方針になるのかなと思いますのでこの評価結果を踏まえての、
1:32:36	整理になるのかなというふうに考えております。以上です。
1:32:50	はい。北海道の伊藤でございます殿。
1:32:52	電気建屋との完成時と、配管のSS機能じゃセットだということはおっしゃる通りだと思いますので、今藤原さんからそういう話がございますてちょっとこの29ページの
1:33:04	記載がよくないというところろうは、はい。認識いたしました。
1:33:09	規制庁違うごめんなさい
1:33:11	もう1回ちょっと整理してくださいね。この5ポツ1で、四つ目の丸で書かれている、何だろう。建屋内の配管や一次系放水ピット耐震性を
1:33:25	確保することが困難な場合には、
1:33:30	これ何だろう、目的としてる項目が、何かよくわからないんですよ。要は、
1:33:34	何だっけな。
1:33:36	はい。うん。排水を、
1:33:39	何だっけな。
1:33:41	なんだこれ私、新しい、この際にこの2行目の耐震性を有する排水配管を新規設置したら、じゃあ、例えば電気建屋が壊れたとしても、
1:33:54	水を、
1:33:55	吐き出すというこの新規設置の目的を達成し得るのですかって言うのは、私は非常に疑問を持ってて、もしその排水機能を損なうことがない設計とすると一番最後の、
1:34:07	文章につなげるのであれば、当然配管はここに書かれてる通り耐震性を確保するし、それを間接する建屋も、
1:34:16	その機能を維持させる必要がありますよね。
1:34:20	そこはよろしいですか。
1:34:22	北海道電力の井戸でございます失礼いたしました
1:34:27	理解いたしました。
1:34:29	記載の意図としましては、間接支持を有する建屋内に新たなSS機能維持の排水配管を敷設することで、
1:34:39	排水機能の維持を、地震時にも、達成するとか、維持するということを書き方書きたかったんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:48	少し電気建屋の中に、そのまま配管だけ耐震取ってまた敷設するののかのような記載にも読めますので、記載自体は、
1:34:58	改めたいというふうに思いますし。はい。
1:35:03	来ちゃう
1:35:06	一応ですね今私が仮かみついたというか、気にしてるのはそちらが回答されてる、口頭で確認されてる内容が、
1:35:17	この文章とそごがあるため、私は異議を申し立てました。なので、一応もし今後この記載を適正化するならば、
1:35:27	例えばどうせ成績の保持するし、もし配管が耐震し、こんなプラスの配管が新しく設置数量を対策して、要は、全体として、
1:35:37	次は出席の小谷設計とするというふうに、そういうふうに、
1:35:43	ちょっとごめんなさいこれコミュニケーションの一環で、相互の理解これでとりましたか。
1:35:49	いいですか。
1:35:53	北海道田口です。おっしゃってる意図は理解いたしました。我々の公開という意図なんですけれども、仮に電気建屋が耐震性を維持して、
1:36:04	今後使えないとなったら、耐震性が、
1:36:08	確保されている建屋台に新たに配管を引くなどっていう意図でしたのでその部分を読み取れないので、きちんと書くようにします。
1:36:28	はいすごい。
1:36:31	いや、
1:36:33	いや、原子炉補機冷が入ってるのに、
1:36:37	ですからそれらも移すことを考えていくということです。もたないんであれば、
1:36:46	えっと理解しました。要は、私の、まずね、私の質問した意図っていうのは、まず、S s 機能維持をされた建屋配管で、構成するんであれば、
1:36:59	こういう想定をなぜするのかだと。
1:37:02	必要ないんじゃないですかと。
1:37:04	要は何を想定してこれはその配管が下りるっていう想定するのかちょっとわかんなかったんで、
1:37:11	何でするんですかっていうことだったんですけど、今言われてるのは、まずこの設計がまだ決まってないと、要は電気建屋がS s 機能維持っていうかその他耐えれなければ、
1:37:23	補機冷の配管の配置も変わるだろうし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:28	この湧水ピットからくる排水のラインも変える可能性があるという そういうことを言われてるところです。
1:37:36	どういうふうに移すかっていうのは、
1:37:38	本当に持たなかったときに、
1:37:40	最後に決まる話ですけども、最終的に求められてる機能を維持できる ような、建屋の範囲内で機能が維持できるようにしていくと。
1:37:49	いう方針です。ただ
1:37:52	選定としてどうですかというのは当然建設時と一緒に、電気建屋もS s 機能維持でいければ、
1:37:58	今のままハッピーケースもあるかなと思ってます。
1:38:13	旧町じゃすいません。ちょっとあの事実だけ、何ですけど、この原子炉 補機冷却海水系統っていうのは、Sクラスではない。
1:38:23	ですよ。打ち出したっけ。
1:38:26	申し上げます。
1:38:28	北海道田口です。えっとですね今の3号の設計からいくと、ラプチャー ディスクのない放水管になってますので、放水玉出が一応主配管という 扱いになって、
1:38:38	います。
1:38:39	ですので、ハウスイ側の方は確かに黒須落ちますけれども、
1:38:44	建屋内でつぶさないように我々としては持たせて、
1:38:48	きちんと排水できるように設計している範囲にはなります。
1:38:53	だから
1:38:55	はい。
1:38:59	ましょう。
1:39:01	熱交換器までがSクラスで、熱交換器後段は巻き欲しいかっこSSだっ たと思いますね。
1:39:24	これで、
1:39:28	県道長仮屋様はS sの方針になるかならないかによって、
1:39:35	そこ排水ポンプの話だからこれ以上排水ポンプの話でいいかなと思うん ですけど、
1:39:42	補機冷を、
1:39:44	建屋の中で、
1:39:46	要は維持できないってなっちゃうと、
1:39:48	溢水とかの評価って補機冷の多分湧水量って相当あるから、
1:39:53	結構影響が大きいような気がするんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:58	うそそこも考えて、ここの部分っていうのは設計今検討されてるってことですかね。
1:40:07	はい。北海道の伊藤でございます。仮に、
1:40:11	電気建屋内で改正が守れると。そういう想定も踏まえて、今医師他の方も検討していると、そういう状況でございます。
1:40:25	大体わかったんですけど、であればまず猶予時間の算定の前提っていうのが、要は今、事業者としては、
1:40:37	原子炉補助建屋も電気建屋もS s機能維持、
1:40:42	まずやろうとしてると。
1:40:45	ただし基本、基準地震動を踏まえて、その方針に変更があることを、
1:40:51	変更がある可能性があるんで、
1:40:53	この電気建屋での機能喪失を想定した評価を実施したというそういうことでいいですか。
1:41:04	今、北海道の伊藤でございます宮本さんおっしゃった猶予時間というお話は、
1:41:10	先ほどの1時間のお花Cのことでよろしいですか。
1:41:16	今排水経路の喪失、
1:41:21	を想定したこの資料になってんじゃないんでしょうか。
1:41:25	北海道の伊藤でございます排水経路の創出につきましては、
1:41:29	地震時の創出につきまして63ページにお示ししてございますけれども、
1:41:34	このバッテンついてるところは、カルバート原子炉補機冷却海水放水炉の
1:41:42	どちらかといえば土木構造物。
1:41:44	側が、これはもう完全に耐震がないものでございますので、そっちが閉塞しちゃった場合に、どっから出て行くんですかと。
1:41:54	それは電気建屋にある開口から出ていきますよとそういうことをお示した資料でございます。
1:42:01	わかりました。
1:42:04	そういうことが上から見てるからそういうことか。
1:42:09	そうね。
1:42:19	ごめんね、もう1回言うと、
1:42:22	電気建屋と、
1:42:25	配管がS s機能維持にする方針であることは今変わりはないってこと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:31	結果によってはそうできない可能性もあるけど、今のところの考え方としては、
1:42:38	どちらもS s機能維持でやろうとしてるってことでしたっけ。
1:42:45	北海道の伊藤でございます我々の基本方針としては今その方方向で考えてございます。
1:42:52	わかる。それがどこに書いてあるかっていうのがちょっとよくわからないな。
1:42:56	先ほどの多分初めのところに書かれた文章だけだとそこまでの読み取りがちょっとできなかったんで、
1:43:05	事業はね、
1:43:07	今の方針って何なのっていうのがちょっとわかんないですよ。
1:43:10	今、結果的に基準地震動が変われば、もうそこだけ見直せばいい話ですよね極端に言えば、基準地震動によって設計変更しなければいけないところがあるならそこを、
1:43:21	ピン止めだけしとけばいい話であって今現状は、
1:43:24	現状の方針としては、
1:43:27	S s機能維持で今考えてるってことはやっぱり言い切っておいた方がいいと思うんだよね。
1:43:31	そこがちょっとわかりにくい資料になってるなと思っていいですか。
1:43:37	はい。北海道電力の伊藤でございますありがとうございます。基本的に、どの建屋を通るかというところはちょっとまだ、基本方針としては電気建屋と先ほど申し上げましたけれども、
1:43:49	確実に間接支持機能が取れる範囲で、S s機能維持した配管で、ガイカイまで導けるようなルートを確保するというのが大前提としての方針、
1:44:01	というふうに考えます。その上で、
1:44:03	それが今、具体的な建屋としてどこを通るんですかというふうになると、今、宮本さんおっしゃってくれた通り電気建屋がちょっと不透明な状況であるという状況ですので、そこがわかるように、
1:44:16	記載すべきというふうに受けとめましたのでそのように修正したいと思います。
1:44:23	はい。ありがとうございます。あとですね、ちょっと気になったところがあって、
1:44:29	ちょっと41ページこれは運用管理で保守管理の方針書かれていて、
1:44:34	何がいいかっていうのはちょっと私はまだ全部、理解をしてないんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:40	事業者の方針としては、この三つ目のポツの、
1:44:45	2系列動作可能状態を常に、
1:44:49	維持する方向で、
1:44:51	要は設備で2系統というものを、
1:44:55	維持する運用とする方針でそれとも水位でかい管理しようとしようとしてるのか、どっちでしょう。
1:45:03	北海道の伊藤でございます。
1:45:06	質問のご趣旨を確認させてください。ここ、公社側の水位でというふうにおっしゃったところが、すみません今私理解できないところがありました。
1:45:19	復旧の対応の具体例ということで、具体的に言えばその女川とかであれば、プラスワン相当ということで、2系統を常に維持しましょうということで、1系統が駄目だったら1系統も1個やって、
1:45:32	それがすぐに復旧しなかった最終的には炉停止とかいろんなのを想定するんだけど、
1:45:37	泊の場合は、このポンプが1個駄目なやつ月継続した場合に、じゃあローテーションで考えるのかっていうのと、
1:45:45	いやそうではなくてそもそもその、
1:45:49	想定している例えば51ページで言っている、
1:45:53	高警報のTPのマイナス4.75かな、もうちょっと上になるのかな。
1:45:57	ちょっとわかんないけど、
1:45:58	そこが維持できてれば、それ以下を維持できてれば、
1:46:03	要は極端に露呈したり、そういう、
1:46:07	対応まではする予定があるのかないのかっていうところが、ちょっとよくわからない資料になってるなと思ってます。
1:46:16	はい。北海道電力の井戸でございますありがとうございます補足いただきまして理解いたしました。
1:46:22	後半部分の回答につきましては、
1:46:25	保安規定で管理するような設備等はせずに、
1:46:31	ただし、ほんま単一故障の想定は置いてますので、そうなった場合には速やかに2系列復旧できるように、資機材等も活用しながら対応していくと、そういうことをお示ししたいものでございました。
1:46:48	規制庁宮です。
1:46:50	多分そこは結構、
1:46:53	私としては、今の回答で本当にいいのかなと思っていて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:57	要はその
1:46:59	まず0Bは、
1:47:02	2多重化されたもので、
1:47:04	機能喪失しないようにしてやりましたと。
1:47:08	S Aはってなったときに、
1:47:10	S A電源につないでるので、機能喪失しません。
1:47:15	ただし、編成の中には、要はそれも喪失した場合を想定しなきゃいけないやつがありますよね。
1:47:21	そうした場合にじゃあどう対応するのかっていうと、例えば可搬なり何なり用意すると思うんだけど、でもそれはあくまでも、
1:47:30	やっぱり水がきくんなと思うんだよね。
1:47:33	んなので、その部分の整理ってどうつけますかっていう話だと思うんで、その、今ちょっとさっき言われたのは固化ファンとか用意されてるから、
1:47:44	設備全部あると思うんだけど、
1:47:47	基準適合上どこまでの範囲を事業者として示すのかっていうところの、
1:47:53	範囲が、少しこの資料だとわからないなと思っていて信頼性向上の中の部分は、多重化したり何なりする、CDまでつなぐところまでは、
1:48:03	多分基準の内だと思っていた部位ますよっていう整理になってるんですよ多分ね。
1:48:10	で、今言っている、その資機材なり可搬内として用意するものは、じゃあこれは自主なんですかそれとも例えばその、
1:48:18	運用にかかる部分なので、スペックではないんだけど、
1:48:22	要は、S s - Aで言っている、資機材のS Aの資機材の中に入れておきますっていうのか、どっちなんですかっていうことだと思います。
1:48:33	北海道電力の伊藤でございます
1:48:36	ご解説いただきましてコメントしご指摘の趣旨は理解いたしましたちょっと。
1:48:42	はタクシーの方で衛生関係の資機材の取り扱いですとか、基準適合上の位置付けですとか、確認してから回答すべき内容が含まれているというふうに理解しましたので、
1:48:56	本件に関しましては、申し訳ございませんちょっとこの場で回答せずに、少し関係者と考えた上で、ご回答をお示ししたいと思いますけれども、田口さん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:10	北海道田口角谷元さんからご指摘いただいた点、我々今書いているのは、2系列生かすように運用しますというだけであってそれに担保をとるとか、そういうところまで考えたことではなくて、
1:49:21	こういうふうに頑張りますって言うところですので、どこでその突きつけてないけど、
1:49:28	何が取られるんだっていうところをはっきりした表現にしたいと思います。
1:49:36	ちょっとこれは設置許可でどこまで議論して最後、工認保安規定で引き継いでいくかっていうところがあるので、
1:49:44	その
1:49:45	今言われたように、今何で
1:49:49	要は閾値を設けるか、
1:49:52	ていうのがちょっと不明な状態になっているのでそこはしっかり書いていただいた方がいいかなと思います。
1:50:00	井戸田口、了解いたしました。
1:50:05	規制庁宮です。最後、私の方で最後です。
1:50:09	この
1:50:10	43 ページの比較で、
1:50:13	一応、
1:50:15	言っておくと。
1:50:17	この1時間っていうものが、
1:50:21	非常に短いなというちょっと印象があって、
1:50:24	先ほど湯と中ゼンカイはあったんだけど可搬みたいなやつがあると思うんだけど、
1:50:33	その準備ってどれぐらいかかるぐらいで認識されてるんですかね。
1:50:43	北海道電力の伊藤でございます今
1:50:46	具体的に、どこに保管するのか
1:50:50	適切な保管場所は選択しますけれども
1:50:53	そこから搬入してきて、
1:50:56	ハッチを開けてっていうところで、すいません感覚的には1時間以内にできるんだろうなとその作業に限れば、
1:51:03	思いますけれども、ちょっとまだ、こうこうこういう手順で、誰々が運んできて、1時間以内におさまりますというところまで、ご回答できないというのが今の現状でございます。
1:51:17	不安ですわかりました後、51 ページちょっと、今の1時間の考え方ね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:24	通常はポンプ停止レベルのTPのマイナス 5.35 にありますよと。
1:51:31	で、5.35 から、
1:51:34	この
1:51:36	下端じゃなくて上端まで行く時間が1時間ってことですかね。
1:51:45	同じ絵がですね添付資料の、
1:51:50	さん側の57ページにもございます。
1:51:58	3普通的前提としましては、今おっしゃっていただいた、5.35ではなくてですね、もっと高めのマイナス4.75が、
1:52:10	高警報とか待機ポンプが起動するレベルですので、
1:52:15	ここで待機ポンプ動かない場合には、どんどん上がり続けるということが一番不利な、
1:52:20	条件としてはここからかなということで、ここをスタートにしまして、
1:52:25	上側は湧水ピットのはい、片野レベルというそういうすいません原子炉、
1:52:32	補助建屋の基礎の下端レベルとその範囲で、確実に貯水を見込める容量だけを選択して、積算すると、9.3立米になりましたと。
1:52:45	というそういうことでございます実際にはもうへ、
1:52:48	合成西岸ですとかあと砂利の隙間もあると思いますので、もう少しまるかなとは思いますが、今回評価としては、そのような考え方で、確実に助成が見込める範囲だけに絞って計算したというものでございます。
1:53:03	神尾ですもん。代わりましょうこれ通常の水位っていうのが、
1:53:07	多分ポンプ。
1:53:09	停止レベルから-5.3をだから
1:53:12	4、51ページと57ページと照らし合わせながら見なきゃいけないんだけど、で、
1:53:17	このポンプ行き世代。
1:53:20	要は調子悪くなったり交渉したら、気泡って出るんですけど。
1:53:24	今現状の設計としては、
1:53:31	北海道電力の伊藤でございます。まず本、
1:53:35	ポンプ自体の
1:53:37	以上で何か警報が、
1:53:42	出るかっていうのはすいません今お答えできないんですけども水に関しては、
1:53:47	ポンプが畑生きていて動いている限りは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:52	ポンプ停止レベル等ポンプ起動レベル行ったり来たりするポンプ起動水なんか出ますちょっとください。はい。
1:54:01	すいません。
1:54:03	ちょっと間違ってるかもしれないんですけども 51 ページの図で見ていただくと、
1:54:07	上から二つ目のところにマイナス 4.85 に選定ポンプの起動レベルというのがいます。ですので、どちらか 2 台あるうちのどっ動く方に選定してる方がここで動くことになる。
1:54:20	ただそれを超えてるのに動かなければ選定するポンプが動いてないんだねと。
1:54:25	いうことになってそこからさらに上がっていくと高警報で大気が動くという設計ですので、
1:54:31	選定してるものが動かなかったのというものもわかるしそこより上がっていくんであれば、待機してるものも壊れてるということはわかる。
1:54:42	ありがとうございますなのですいません北海道の伊藤ですけども、選定ポンプが壊れれば、
1:54:49	検知できるけど、ポンプ水水位が上がって行って、
1:54:53	選択しないものが勝手に壊れている場合には、もう当たり前だけどそれは、
1:54:58	わかんないってということですかね。はい。
1:55:02	そう。いや、ポンプ木戸水MIのみっていうのかな。
1:55:07	ここのレベルまでいかないと、サクションとして正Headが足りてないよというそういうウェートレベルベーションかと思います。
1:55:24	を、ここ
1:55:26	撤去。
1:55:27	そういう、
1:55:29	そういう運用だから 57 ページやっぱそうなっちゃうとか。
1:55:38	これもうちちょっと深いこれね、千田宮井ってもっと深いレベルああそうかサクションが、
1:55:44	ああそうか 4.9 をこれ下回ればもう吸えないってこととか、ポンプがね。
1:55:49	今の現状のポンプでは、
1:55:52	北海道の伊藤でございます設計上の値ですので融度あるだと思いきれども、日本ここに設定されているということでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:02	すいません、北海道の本件から村島でございます少し今の補足させていただきますと、
1:56:09	ポンプの木戸水。
1:56:12	耳って書いてあるところは、起動水のう幅を持ってましてその下端レベルっていう表示です。一方で、TPのマイナス5.35メートルっていうところにポンプ停止レベルありますので、そこまでは進めます。
1:56:28	ですので、極端な話、少しバンドを変えてですね下側にポンプの自動発展のレベルを持っていけばですねその裕度というのは少し生まれるかなと思っております。以上です。
1:56:43	わかりました。
1:56:46	1時間だから駄目だっていう話でも特に多分ないと思うんだけど、例えば、今言われた話であれば57ページの評価上の位置が、
1:56:55	例えばもう少し下げてしまえば、
1:56:59	2時間になったり3時間になったりっていう、多分融度あるってことですね。
1:57:05	北海道内藤北海道電力村島ですけども、その認識でおりますけどもどこまでバンド設定できるかっていうところは少し考えないといけないかなと思っております。以上です。
1:57:17	規制庁の谷津わかる。
1:57:19	うん。できればそこはちゃんとやっというて、ちゃんとというか1回確認しといた方がいいかなと思っております。伊藤です。ありがとうございます1時間というのがちょっとインパクトが強いので、
1:57:31	事業者の努力として、これがどれぐらい裕度を持たせられるかっていうのは、見といた方がいいかなと思っておりますのでよく確認してください。お願いします。
1:57:41	はい。北海道の伊藤でございます承知いたしました。考え方としては、宮本さんおっしゃって、
1:57:48	いただいた通りかと思えます野村様からも補足がありました。
1:57:52	ただこのピッ等自体がですね非常に
1:57:55	容量として、大きなものではなくて、仮に
1:58:00	1時間稼ごうと思うと、20立米ぐらいが今の評価ですと必要なのかなと思いますが、
1:58:09	これ何立米ぐらいだったでしょうか。556立米ですかねあまり容量が大きいものではございませんので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:19	水のその考え方で、裕度をふやしたとしてもですね、今の時間が倍になるとか販売なるとか、そういうところまでは望めないのかなというふうに思いますけれども、
1:58:29	三浦さんからもご指摘あった通りちょっと、1時間、少しかなり独り歩きしそうな数字であるという印象をお持ちになってらっしゃるということは重々承知しておりますので、
1:58:42	もう少し工夫ができないかというのは考えてみたいと思います。以上です。
1:58:48	規制庁やちょっと長くなりました私は以上ですはい。
1:58:55	規制庁の稲川です。すいません。ちょっと今1時間の話がずっと出てたんですけど、パワポの58ページ、
1:59:02	別紙10まだ次回出す提出いただけるというふうなことで、ちょっとこういうお尋ねをするのはちょっとなじまないのかもわかんないんですけど、
1:59:13	1時間8分の計算根拠がわかるように、別紙10の中に記載をいただければなと思います。あと、
1:59:23	172.1立米、1日、1時間当たりになると7. ちょいぐらいの量になるんですけどその辺が具体的にわかるように、妥当性のある説明をいただければなと思ってます。以上です。
1:59:43	はい。
1:59:44	北海道電力の伊藤でございます。
1:59:46	ちょっと私の理解が足りないところがある、あるかもしれませんけれども、
1:59:53	今、別紙10っていうのは設計地下水位の設定の資料でございます、
1:59:58	それを設定する上で、浸透流解析を実施してございます。そのモデルを
2:00:06	ちょっと活用してですね、湧水量を出した場合に、このDポチの示される172.1立米/dayというのが、仮置でございますけれども、算出されましたと。
2:00:19	で、この58ページでお示ししているのは、
2:00:24	その仮置の想定湧水量でございますけれども、
2:00:29	貯留可能量先ほど議論があった所流下能力量との割り算で、どのぐらい時間が余裕があるのかというのが1時間8分ということで、別紙10が一にはですね、
2:00:40	解析モデルの妥当性とかそういうものは地下水位設定を行う上での断層妥当性が示されてございますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:49	ここの猶予時間の計算をする上での妥当性とは特に書かれてなかったかなというふうに思っておりますし、それもあまり、
2:01:00	仮置のもので、参考でお示ししているもので必要ないのかなというふうに理解しておったんですけどもちょっと今、稲川さんのご指摘とはちよつと違う
2:01:11	観点で、おっしゃられたということでよろしいですかすみません、原子力所長の平賀です。そういうことを尋ねてるんですけど、これ、計算したら1.8分になるかなっていうのがまずありまして、
2:01:24	ちょっと計算してただけで、ちょっと私がちょっと計算間違いをしているのかもわかんないんですけど、そこはちょっとその辺も踏まえて、別紙10を出していただきたいというふうなことです、
2:01:37	その辺、終えるような資料作り、資料を提出していただきたいと思っております。以上です。
2:01:44	はい。北海道電力の伊藤でちょっと尾張さんはもう1回確認させてください
2:01:50	何回か計算したつもりでございましたけれども1回やってありがとうございます。はい。
2:01:57	その上でですね、
2:02:02	別紙9、別紙10と別紙11のリンクというところは、意識して資料を構成しますけれども、
2:02:10	基本的には先ほど申し上げた通り、172.1の妥当性というのは、今回別紙10では示されないというふうに考えてございます。
2:02:20	72、172.1の根拠というのは、別紙10で示していただくとそういう理解でいいんですよね。
2:02:28	172.1は参考に使っているということで、ただ、この172.1に相当するポンプを蹴ってポンプ容量を決定する上での浸透流解析っていうのは、
2:02:40	設工認段階で、モデルの妥当性も含めて説明せよという審査会合コメントをいただいておりますので、そちらの対応の中で、整理されていくというふうに考えておりまして、わかりましたというふうなことをちょっと記載していただければあるほど、よろしいかなと思います。はい。
2:02:57	それとすみません、ちょっともう1点、ちょっと私がこういう確認をするのがいいのかなのかちょっとわかんない。何ページだったっけな。
2:03:06	38ページ39ページ、ここで、運用管理と保守管理の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:14	記載をしていただいているんですがカッコ運用管理の方針のところに、括弧案がついてます。これ、案がついてる理由と、等々を説明していただかないと、
2:03:27	規制庁としてはちょっとまずいのかなと思ってます。案の段階で審査をしてOKを出すような格好になりますんで、なんでここに案が必要なのか39ページの、
2:03:38	保守管理の方針についても同様なんですけど、案をつけている理由。
2:03:45	これをつけないといけない理由、案が取れない理由等を、ちょっとアスタリスクか何かで記載をしていただかないと、ちょっと私ども後、ちょっと説明に窮するのかなという感じがしてます。以上です。
2:04:01	はい。ありがとうございます北海道電力の伊藤でございます。
2:04:05	案としている。
2:04:07	古藤につきましては、
2:04:10	我々の既設を使っていくという方針がどうなるのかということも踏まえて、
2:04:17	改めて発電所との調整が必要な事項かなというあたりで、今案としてございますけれども、
2:04:26	ご指摘の通りでこんな
2:04:28	このようなちょっと言葉悪いですけど大ざっぱな内容であれば、どの、地下水排水設備になった場合においても、基本的な考え方としてお示しできるような気もいたしますので、
2:04:40	改めて調整しまして、
2:04:43	取れないかという方向で考えていきたいと思えます。ありがとうございます。
2:04:49	中途のひな形です私からは以上です。
2:04:57	だけですけども、いいですか。
2:05:02	聞こえてますでしょうか。あえてす。
2:05:06	43ページの、
2:05:08	これは三浦の方からも言ったように、女川島根の記載は、正確に書いていただきたいと思っていて、
2:05:15	特に上から123、四つ目、液状化影響を受ける云々って書いてあんだけど、ここは、
2:05:25	都丸町で、原子炉建屋等の主要建屋、
2:05:30	それに加えて、液状化影響を受ける施設降灰の施設、
2:05:35	東部はいらないと、基本的には、正確に書かないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:40	そのあとのクラスは相当なのか、それ以外なのかっていうのが、
2:05:45	わかりにくいと思いますんで基本的な肝はこうだと思ってますんで、そこは正確に書いてください。よろしいでしょうか。
2:05:53	はい。北海道電力の伊藤でございます。今、まさに頭のところで重要なところを明記できていなかったというふうに認識した次第です。
2:06:06	今ご指摘があった記載というのはですね、審査会合、6月23日審査会合のスライドの中で、限られたスペースの中で、差別化できるところどこなんだというところで、
2:06:17	このような記載でまとめたものをそのまま転記してございましたらA3にしてもらって結構ですから、はい。それは正確に書いてください。以上です。
2:06:27	続いていきます。63ページ、63ページはですねこれ平面図なんですけど、
2:06:34	基本的に断面図、
2:06:46	すみません聞こえませんでしたね。63ページは、
2:06:49	まずこの平面図だけじゃなくて断面図も変えてください。
2:06:57	道野伊藤でございます承知いたしました添付4-1図60ページ目に、断面図ではないんですけれども、
2:07:04	3次元的にお示ししていたものがわかりやすいかなというふうに思いましたが、
2:07:08	これではなくて、次元で断面を切ったものを、いわゆる、具体的なものがわかればですねそれは構わないんですけどね基本的に63ページのところで議論する上で、はい。60ページですか。
2:07:23	ただ、基本的に
2:07:28	私が言いたいのはいわゆる意見調査したときに基本的に地方目、
2:07:34	数字だけで書いてあるだけなんですけど、基本的な中を見に流れていく、そのさまっていうのは、一次系放水ピットの形状等でやるもんだと思うんで、
2:07:45	それが土地表面の関係と開口の位置関係、それからはっきりわかるようにしたほうがいいと思うんですがいかがですか。
2:07:54	はい。ご指摘ありがとうございます北海道の伊藤でございます。
2:07:58	60すらの中で、
2:08:00	電気建屋開口部TP10.4メートルというふうに記載させていただいておりました。この外側に地面が100人とは、63ページのを行った時に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:14	正面図みたいな感じ、いわゆる右手から左手に見たような感じ、いわゆる健聴者で見たような写真でもいいんですけどね。
2:08:22	ありがとうございます北海道の井藤でございますよくわかりました写真があるとイメージがわかるんで、
2:08:29	そういうイメージがわかるようにしていただきたいと思っていて、それで、
2:08:33	実際的に64ページで言ったときに、こんなふうに水が流れるんですかっていうか、実際にこれちょっと、
2:08:40	これでいいかどうかというところ、
2:08:43	うん、芳しくないと思ってます。
2:08:47	実際にこの地下水位低下設備のところでも基本的には
2:08:53	ここで言うと放水路が流れなきゃいけないんですけど、基本的には原則に排水不可と言っていることが前提条件になってるんだけど、これはちょっと許されないなと思っていて、
2:09:04	少なくとも原子炉補機冷却海水系、
2:09:08	ただ、
2:09:09	先ほど宮本が言うように、水の量があるわけですから、それは確実に排水する必要があるんで、
2:09:16	10年前に私が担当したときも伝えておきましたけど、それに関しては、少なくとも、
2:09:22	ライク分、空間が確保されて通水ができることってのは維持される必要があると思います。これそのまま見水を出しっ放しにして64ページでこの方向に勾配がついてで流れるってわけじゃないでしょうし、全体に水が溜まってしまう。
2:09:38	再度全体水がたまる形になりますから、これは原子炉補機冷却系のことを考えてもよろしくない。
2:09:44	また、基本的には
2:09:48	地下水排水設備もですね、基本的にはす。
2:09:52	そこに流れるロジックが大体、他のサイトでも大体できていて、最悪たまるような、滞留するような、
2:10:00	単位があれば、基本的には、
2:10:03	フォースなり等で直接排水できるといった話になるんですけどここは別にパイプでもないから、
2:10:10	特別、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:14	コース等で運用設計的運用で対応できるってこともできないですよ。これって何かそれなりに、他のサイトと比べてもちょっと見劣りするなと思う水。
2:10:24	そもそも、
2:10:29	海水放水炉はやっぱりある程度、S sに対して
2:10:36	少なくとも中国玄海ぐらいで保持しないと、
2:10:40	話が成立しないと思いますがいかがですか。
2:10:48	北海道電力の伊藤でございます。
2:10:51	今保守的な想定として、
2:10:55	63 スライドを、原子炉補機冷却海水放水炉、耐震性の考慮、
2:11:01	今私すいません機電側ですけれども、ないということを前提に仮に全閉塞というつもりで、
2:11:08	今置いておましてその場合、地下水のみならず、海水も黄色の矢印で敷地に出ますと、敷地に出た以降は、
2:11:18	フラットですけれども動水勾配ができれば下流側に、海側に流れていき、すいません、そんなにIな感じで流れないですよ。全体に広まって1極まで水が流れていって、全体的な、たまってから出ていくって形になると思うんで、ちょっと有り得ないんで、
2:11:34	土木側の方に、記念側でしょうから今日説明してるのは、この辺は
2:11:42	所長会だと思うんですがそっちのね、担当会なんで、土木の方に行っていたきたいのは、基本的には、この方水道はS s
2:11:50	に対して、少なくとも、硬水機能は保持できるという設計をすると書いてください。
2:11:58	それ以外認められないな。
2:12:00	基本的にそれ以外で、それで、
2:12:02	念のためにというか
2:12:06	ということで 64 ページのシナリオがあるならまだわかるんですけど、いわゆるある程度保持ができるのであれば 64 ページ要らなくなるんだけど、基本的に言うと、
2:12:18	この方水路は、基本的にはS sに対してある程度の不機能保持は通水機能は保持される街灯を認められないと思います。
2:12:28	それを伝えてくださいだから、保持できる設計とすると変えてください。
2:12:37	規制庁藤原ですちょっと若干だけ横から挟んで申し上げますこれ多分もう1ヶ月、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:45	整理をされた埼玉で審査会合とかです、いろいろ議論してもいいことかなともちょっと思ったりしてる次第でございます、
2:12:57	要は今我々が気にしてるのが、
2:13:02	女川の説明でもちょっと議論があったですね 64 ページ多分、我々、まず一番我々が厳しいことをまず、もう1回ちょっと江崎の言葉を、薄私の方からも改めてちょっと申し上げて恐縮なんすけども、
2:13:14	64 ページで、
2:13:17	結構長い距離を、この矢印通りに行くことが、ちょっとありえないってことが女川の節項に話がありますので、
2:13:27	永野雪子に何が話をしたかっていうと、
2:13:31	S s 機能補助してる衛藤水はどこですか。水というのは、側溝ですね。
2:13:38	S s 機能補助してる集水枡でどこですか。それに対して、距離、要は水が出てくるところの距離ってどれくらいですか。
2:13:48	それが十分に近かったらじゃあそこから水が出るかもしれないですね、けども、泊はすごい。
2:13:55	距離がありますね。だから、地震なんかそれ言ってることを、ちょっと、
2:14:01	にわかにはちょっと信じがたいところがありますね。
2:14:06	だったらそれを前もってやったらそれだけじゃなくて、基本的をくべ、いわゆる原子炉補機冷却海水系と同じ流れにはなるわけだから、
2:14:15	水の量が他のサイトが違うわけだよ。
2:14:20	はいはい。ちょっと若干はい。はっきり言うと、基本的にね、
2:14:31	全体に綺麗なこともまじって話を持ってきてはいるんだけど、基本的に曹長効果で来ちゃうんで、
2:14:39	これは違うところの違う条文との話になってはしまうんだけど、
2:14:45	この安易にこういう話を持ってくるってのが問題だつってるんですよ。
2:14:51	言ってもわかりますと事業者としてね。
2:14:55	ちゃんともう少しちゃんと、
2:14:57	検討しなければいけないまたは対策を打たなきゃいけないものに対してアユを、これはARM。
2:15:05	対津波もあるんだけど、全体にいえる話なんで申し上げてるんですね。
2:15:15	規制庁深山です。田上さんありがとうございました。事業者の方でよく今の話を土建側にも振っていただいて、振って確認していただいて、今の内容を踏まえて、しっかり回答していただければと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:29	思います。要は、それがこの地下水位低下設備のヒアリングで返すのかそれとも土建側の、例えば耐震なり、
2:15:39	耐津波の上解説なり、今の内容については今日発電で持ってこられてるところがあって、我々、先ほど言ったように地下水位低下設備だけじゃなくて
2:15:52	補機冷の話まで含めて今ちょっと話になってしまってるところがあるので、今回は地下水位低下設備に関わる場所なので、補機冷どうこうっていう話ではないんですけど、江崎っていうのは、
2:16:03	その補機冷のところについても、安易にやっぱりその、
2:16:08	部分を持ってこないでしっかり検討した上で、本当にこの経路が守られるのかと。
2:16:16	いや出てくる水の量から考えたってそれは、現実的には厳しいのではないかと。厳しいじゃないっていういえるのであればそこを根拠を示して、
2:16:28	示していただかないと、今みたいにこの矢印だけをもって、我々がこうなるんですって言ってそれを納得できる根拠は今ないので、そういうものを含めてしっかり検討していただければと思いますけど、皆さんそれでよろしいでしょうか。
2:16:43	すいません渡邊といただいて、その通りだと思います。
2:16:47	はい。北海道の伊藤でございます。
2:16:50	ご指摘、理解いたしました滝野上部に渡って関連する構内の水の流れは構内排水設備含めて、
2:17:01	屋外溢水関係で主に説明することになろうかなというふうに思いますけれども、ご指摘内容を踏まえて、対応して参りたいと思います。で、この矢印はですね、
2:17:12	ちょっと構内排水設備を選択的に流れていくような誤解を招くものだったなというふうに反省してる場所なので、
2:17:21	もうちょっと、江崎さんおっしゃった通りでいろんなところをめぐりめぐって水位が高くなった上で、最終的に開校に向かって、流れができるということになろうかと思しますので、
2:17:33	そこは誤解を与えないように、しっかり評価して参りたいと資料を修正して参りたいと思います。
2:17:40	簿、ちょっと
2:17:53	前段の方でございました方法水路大野のお話につきましては、江崎さんのお話されている内容というのは理解できたんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:05	ちょっと土木課たの方で今本店側で先ほどのお話に対して、一次回答もしお持ちでしたらお願いしたいんですけれどもいかがですか。
2:18:21	本店の村島ですけども、すみません土木側の、今出席メンバーの中にはいませんので、少し認識だけを共有させていただきたいと思っておりますけども、
2:18:32	補機放水炉をにしましては、12号も3号もですねそれぞれプラント設計思想がありますけども、放水を包絡し、したとしてもですね主たる経路がきちっと存在するというのが、
2:18:49	設計思想にありましてそこが3号機でいきますと、一次系放水ピットの哲防止でしたと。
2:18:56	という状況です。なので、そこから下流側が、耐震Cクラスのところがですね、崩落したってことになれば、新たな経路を取る。
2:19:07	もしくはそのて坪内のところまでが、耐震化されているここが必須だろうと思っております。先ほどの伊藤からのお話の通り、電気建屋の耐震性が今後基準地震動をが確定した以降の評価で、
2:19:22	ここは経路として不適だとなればですね耐震が確保されている、原子炉建屋から振り回してですね、ラプチャープラントにしていくみたいなことも考えておりますので、
2:19:34	江崎さんが気にされていた経路として、不成立だっというところにはならないようにはそれは我々も考えていこうと思っております。そういう認識でおりますあれば、その地上面をちゃんとする。
2:19:48	排水する排水をちゃんと作っていただくしかないと思います。
2:19:52	基本的にですね
2:19:55	電気だけはある程度補強するなり、またはその経路を変えるなりするんであればここ方水路もある程度ちゃんと考えていくべきだと思っております。
2:20:05	基本的に新規制基準前に設計したその設計思想等、今回の基準適合が本当に適合するののかという問題があって、
2:20:15	必ずしも適合するものではないと僕は思っています。その辺はよく勘違いしないと言っていたきたいと。
2:20:23	いわゆるちゃんと経路で海にちゃんと排水できるような経路がなければ、いろいろアクセスルート、
2:20:29	それでもまた影響与える、そういったことから全部含めて、
2:20:33	総合勘案しても問題ないのかどうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:36	では必要であるのであれば、新たな法制度を紙を作るなりするしかないんだと思います。以上です。
2:20:46	はい。北海道電力の伊藤でございます。敷地Cを流れていくことの妥当性も考慮して、踏まえて説明をすべきというふうに受けとめましたので、先ほど申し上げた、
2:21:00	屋外水になろうかと思えますけれども審査の中で、そのあたりも含めてご説明したいなというふうに今思った次第です以上でございます。
2:21:14	規制庁のです。ちょっと私からも1点確認させてください。先ほどの63ページなんですけれども、
2:21:21	これ仮に、
2:21:22	電気建屋の耐震性を確保できたとして、
2:21:27	それで地下水の排水配管か、
2:21:32	耐震性確保できたとしますという話になった時に、その電気建屋と補助建屋って、建屋自体が別々税だと思うんですけれども、その地震時にその挙動変位が、
2:21:45	薄相対変位が出たときに、この排水配管っていうのは、何か無事なのかっていうか何かそういったところ設計で、ある種確認今後していくのかそれとも何か、
2:21:56	ハード面で何かこうすでに何かこうジョイント部があって、そういったところも考えてるんですとかって、そういうのが少し今わかれば教えてください。
2:22:08	はい。北海道電力の井戸でございます。電気建屋、仮に耐震、いかにせん筋トレた場合には、また外の相対変位も踏まえて、貫通部できると思いますけれども、そのどこで、
2:22:19	その変位を吸収するのかわつてのはちょっと私あんまり詳しくないところもでございますけれども、当然ながら、
2:22:26	最大変位を吸収できるもしくは最大変位を受けても、許容できるような設計というのをするものというふうに考えてございますと。
2:22:36	すいません北電メンバーで、詳しい方いたら、補足お願いしたいんですけども、
2:22:48	ほぼ、北海道の村島ですけども今の伊藤からの説明と思んと同じ認識ですけども建屋間相対変位というのは必ず確認しておりますのでそこを貫通する配管に関しては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:00	変位を吸収できるように、配管を、基本的には配管は貫通させて、剛な構造にしたいと思いますけども、その変位を吸収できるような、クリアランスを保てる物なりですね、止水機能を持ったもので、
2:23:16	承知していくんではないかと考えております。
2:23:20	麻生です成長の尾野です。説明理解できました。
2:23:26	そうですねこの建屋の他電気建屋の耐震性確保することになったら少しそういった説明も加えていただけたらと思います。工認段階で、
2:23:34	最終的に確認する内容だと思うんですけども、少し許可の段階でそういった設計しますのは、記載していただけたらと思います以上です。
2:23:45	はい。北電等で承知いたしました。
2:23:49	規制庁CHASTE私の方からまた幾つかちょっと時間は、大分ちょっと近いかもしれんけどちょっと幾つか、
2:23:58	ですね、ちょっと
2:24:02	24 ページちょっとこれ記載だけなんですけど、24 ページ、
2:24:07	先にここ2、
2:24:08	両括弧6の一つ目の丸で分析値から分析4までの整理を踏まえて書いてあって、ほんでその前のページを見るとなんか分析3までしかちょっとやってないので、多分これ分析はその下のなお書きの話だけしか、
2:24:22	ないような気もしてですね、記載だけですけどちょっと、
2:24:25	気になったんでそこだけ、また後で見てもらっていいですか。
2:24:32	はい、北電の伊藤でございます24 ページ目の二つ目の丸でですね。
2:24:37	なお、分析4におけるということで、記載させており、記載しております。
2:24:43	けれども、やはり規制庁、ごめんなさい言いたいのは一つ目の丸をまず読んだときに、分析1から分析4までの整理を踏まえ、
2:24:53	というふうにお尋ねしました。はい。確かに分析3までの整理を踏まえたことだと思いますので、はい。修正いたします。
2:25:04	はい。規制庁じゃないすに43 ページをちょっと見てもらいまして、
2:25:12	これも記載だけがまず一つ目でこの日、先ほどからよく言ってる約1時間の、
2:25:18	機能喪失の猶予時間、これ
2:25:21	文章だけなんですけどこれ、機能喪失時の設計条件を超えるみたいな、皆さんちょっときちっと入ってもらわないとなんかちょっと杉がついている気がします。いかがでしょうか。
2:25:33	はい。ありがとうございます北電の伊藤です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:37	猶予時間ですと、確実にそこで何かが起こりそうなそんな誤解を招く記載になっておりましたので修正したいと思いますありがとうございます。
2:25:47	はい。続きまして保守管理性のところの、泊のところは今集水管前は岩間点検可能とするのはわかりましたが、サブドレンに関してはちょっと記載が抜けてると思うので、
2:26:01	それもちょうと記載を追記してはいかがでしょうか。多分、要は、詰まりが生じにくいとかそういったことが、一応資料上書かれてたんで、その点いかがですかね。
2:26:12	北電の衛藤でございますありがとうございますを受けておりますので、入れるところは見ます。性質的に大丈夫です。エレベーションも高いですと、そのようなところを端的に追記したいと思います。
2:26:26	その下の関連する設置許可基準の条項のしまねこれ三条2項と4、38.2項ってこれはあれですかね
2:26:37	テンパチ上、或いは、6条なんかこれ記載が、
2:26:42	3条2項とか、期待するって書いてあるんですけど、ちょっとまとめ資料というのは、別にその辺んと、テンパチが要は、
2:26:52	転落の方だな、そっちの方では、
2:26:54	うんをもとにちょっとこれ書いた方がいいような気がします。この点いかがですか。
2:27:00	はい。ありがとうございます
2:27:02	北電の伊藤ですちょっと確認になってしまうかもしれませんが、
2:27:06	最新の状況として先ほど少し申し上げたんですけども、
2:27:11	島根2号炉様の
2:27:14	設工認の地下水位低下設備の資料を公開されてますので拝見しております、その中の星取表を拝見すると、
2:27:23	3条2項ですとか38条2項も三角印で関与する、すみませんちょっと言葉が今思い出せないですけども、直接的に期待するんじゃないけど設計条件、
2:27:35	としているみたいなんかそんな記載がございましてそれをもとに今、抱えておりましたけれども、藤原さんがおっしゃった、今、テンロク食うですかね、テンロク。
2:27:48	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:49	規制庁島そうですねこれ、テンロクを多分参考にされた方がいいのかなと思うと、あと比較項目のその条項、要はまとめじゃなくて、添付書類、
2:28:01	からは、判別したみたいなのそんなふうな記載はまとめ資料から連絡添付書類からの記載を持ってきたとそういうふうに、
2:28:11	出した方がいいように思います。よろしいですか。
2:28:15	はい。ありがとうございます。もう少し調べて、記載を適正化すべきだというご指摘というふうに理解いたしましたので、
2:28:26	きちっと言いたいのは、液状3条2項で液状化の影響ですよ。そういうの低減に期待してるんだったら、どっか用圧力低減だけじゃないんじゃないすかっていうふうに、
2:28:40	んなるんですね。言いたいことわかりますか要は、ようは圧力低減と液状化影響低減と二つの項目があってそれぞれは、
2:28:49	液状化影響的には3条2項で、圧力は4乗ですよ。ですからそれがちゃんと一対一で対応するようにしてください。今、対応しないのでっていうの私言いたいことです。それを対応させるには、
2:29:00	添付書類の記載をベースにした方がより一対一でしょうと申し上げてます。今の私の言ってることは、伝わりますか。はい。
2:29:10	今補足いただいた内容は理解できましたので、ちょっと上の方で、
2:29:16	この島根の欄で、島根が何に陽圧力ですとか、
2:29:22	帰っていったんかな。はい。ご指摘の内容は理解できましたのでちょっと上の内容と含めて、記載の適正化をしていきたいと思います。
2:29:33	はい、そうです。
2:29:37	江藤。はい、規制庁じゃないです。その次へとイメージ図のところごめんなさい、もう本当記載だけなんすけど、泊のイメージで、原子炉建屋が何か真四角はすごい、なんか私違和感があって何かあのドーム形状のようなものがあるような気もするんでちょっと。
2:29:53	若干、何か変えてもいいかなと思いました。いかがですか。
2:29:57	はい。見た目も大事だと思います。確かにおっしゃる通りだと思いますので、
2:30:03	はい。
2:30:04	ちょっとスペースの問題で今、このようになってございますけれども、工夫して丸みを帯びた、
2:30:11	ポンチ絵でお示ししたいと思いますありがとうございます。はい規制庁城です。右上73ページで開いていただいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:19	73 ページの年、何だろたいケース耐震性の上から三つ目の、
2:30:25	こっちで、
2:30:27	埋め戻し道路の下にある集水管は、云々かんぬん管でいろいろやって、耐震性確保しますということについて、この中概要の図みたいなやつで示すことって、
2:30:40	何ですか何かちょっと何かどういうふうなことをやって、改造やったら、S sにもつんだらうというちょっとごめんなさい、イメージが沸かなかったもんで、この点いかがですか。
2:30:51	はい。北海道の井藤でございますご指摘の内容理解できました。
2:30:56	ちょっとどこまでのポンチ絵が2週間後の提出資料定数でお示しできるかは、
2:31:02	社内で検討をしたいと思います考え、今考えていることとしては、
2:31:07	点検用のアクセス候補、作るのにすべてその埋分を一度掘り返しますので、
2:31:13	その際に、上に敷鉄板みたいなもう少し厚みのあるものを設けるですか、あとは、
2:31:20	交換に変えてしまったらどうですかというような話もございましてちょっとそこら辺の
2:31:26	具体的な基本方針というのが今定まっていない状況でございます。何かしら対応できるというふうに思っておりますのでその中で、こんなんがありますよというような例示になるかもしれませんが、できるだけ、
2:31:39	ご要望にお答えできるような資料を準備したいと思います以上です。はい。規制庁城です。理解しました。まず、図っていうのではなくてあくまでもS s機能補助、
2:31:50	確保するというのが大前提であってそれにこういうふうな成立性を示すために或いは補強、取りかえとかいろいろ、
2:32:00	そういうのは日本語の文章で書かれては理解しました。はい。
2:32:18	はい。49 ページ。
2:32:21	やっぱり何か、当初はいいかなと思っていましたので、はい。そういうところも踏まえてご検討いただければと思います。
2:32:27	はい、ありがとうございます承知いたしました。
2:32:30	お家等、もう1点だけちょっと76 ページをちょっと見た時に1度ごめんなさいねこれモックアップ試験、モックアップで何かいろいろやっただけっていうのがあって、ごめんなさい、これ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:41	どこまでサブドレーンの普通の集水管の星川に何だろう、どこまで確認正確にもよるかもしれないですけど、一応ちょっと事実確認させてください。
2:32:53	ルート1とか、ルート2とかルート3を選定した理由っていうのは、何か何かあるんですか。例えば何か0点があるところ、極力、
2:33:04	作ったとかですね。要は、こういう時は大体全部網羅できるでしょうみたいな、何か大ざっぱな感覚経営と計画に対する何かありそうで、ちょっとそこをお伺いしていいですか。
2:33:17	はい。北海道電力の井戸でございます。今まさに最後に藤原さんがおっしゃってくれた通りで、
2:33:22	ここを確認しておけば、
2:33:24	ピット下ピットのピットにも開口がございますので、そこからのアクセスも含めて、
2:33:31	全体を見れるでしょうというところのあたりをつけた上で、この3ルートを設定したということで、曲がりが多く、かつ、距離が長いところというのを選定して、モックアップをつくりました。以上です。
2:33:46	一応できればそこ日本語でも結構ですから何かルート選定の考え方をちょっと書いてもらったと思うんですが、例えば0.1は曲がって距離が長いルートには、2回曲がるとかある器も一応2回回ってるけど、
2:33:59	ちょっと複雑なのかなその辺にちょっと、
2:34:02	それで何か特徴があるといいなと思います。いかがですか。
2:34:05	はい。ルート、前の選定方針というところをわかるようにお示ししたいと思います。
2:34:12	江藤。ちょっと、あと記載だけですけど76これスケール、距離感をちょっと。
2:34:18	書いてもらってるから300メートルまでの実績があると文章で書いてあってこの竹尾ってどんくらいなんですかっていうのが何かちょっとスケールが変になるとよりわかりやすいかと。いかがですか。
2:34:29	はい。スケールも北海道の井戸でございますスケールも追加いたしますちなみに300メートルは直感で、配管が細い場合のかなり有利な条件での実績ですので、ちょっと
2:34:40	実績として嘘ではないので抱えてございますけれども、
2:34:44	建屋の下をくねくね回りながら太い管を300メートル進めるかということそれは難しいのかなと思っておりましてそれも踏まえてルートを設定しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:54	はい。規制庁城です。もう最後に私がもう1点、78ページ。
2:35:02	清掃装置進行時の様子っていうのがあってこれなんかね、モックアップ使った感と実際の間はと一緒なんですかね。なんか、何となく写真紙と穴があいてて、
2:35:15	何か集水管の穴を再現してるようにも見えますが、
2:35:19	その点いかがですかね。
2:35:22	ない、ない形ですとか、穴のピッチですとか、花のコスト等、角度、すべて実分Ⅱでございます材料だけが、
2:35:33	アプリデザインということで違いますけれども、
2:35:37	集水管も、今ご指摘いただいた通りで穴空いてますので、
2:35:41	それに合わせてモックアップを行いました。
2:35:45	はい。規制庁芝です。これで見た写真で、何かこう水をなんか出して推進しているような感じだから財政どっちかっちゃうとKとかあれに依存して、
2:35:56	目下要は、まだ全く同じ材料である必要はないというふうに理解しました一応そういう認識でよろしいですか。
2:36:05	はい。我々も基本的には時期と同じ挙動を示すだろうということで、
2:36:13	塩ビとアクリルまざる残地があり、あると思いますけれどもモックアップ中見えるのが有益ですのでこのような材料にしております。
2:36:23	規制庁じゃ私の方は以上ですが、
2:36:28	規制庁の飛田ですけど、よろしいですか。
2:36:33	石田さんお願いします。
2:36:35	はい。
2:36:38	29ページ30ページ31ページのところなんですけどこれ、
2:36:45	先ほどもですね少し話が出ていたんですが、
2:36:49	39ページを読むとですね、
2:36:55	現状のですね、地下水の排水設備、これを
2:36:59	改造するということを、を前提としたような書き方になっているんですね。
2:37:07	ちょっとこれ読んでいてやっぱり違和感があって、本来このところは、S s機能維持っていうことを、
2:37:16	前提にして考えるとそもそもどういシステム構成にしなきゃいけないかっていう話が前段にあって、
2:37:23	その設計方針を踏まえた場合に、既設Ⅱの設備っていうものの流用性みたいなものを考えるとこうなるっていう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:34	そういう説明になるのではないかというふうな考え。
2:37:39	そのように考えてるんですが、今少なくとも現状の書き方では、改造ありきというふうにはちょっと、そうそうとしか読めなかったのですが、そこら辺は、
2:37:50	見直していただくことは可能でしょうか。
2:37:58	はい。北海道電力の伊藤でございます。以前、前段の方で、
2:38:06	常盤の方でご指摘いただいた内容と一部重複するのかなと。
2:38:12	思いますので、
2:38:13	実態として既設の肺臓ありきで進んで、社内的に進んでおるという実態をはありつつ、
2:38:24	即効そうではなくてまず設備要件を定めた上で、仮に施設を使うんだったらこういうふうになりますよという、示し方、
2:38:34	の方がより適切ではないかということかと思しますので、ちょっとその辺は、序盤のコメントも踏まえて、対応して参りたいと思いますちょっと。
2:38:46	私の回答ずれていたら、すみません補足いただけますと幸いです。
2:38:54	規制庁西田です。はい。そ、そのようなことで前段のところを少し書き加えていただくというのがお願いです。
2:39:03	それで、それを踏まえてなんですが、その結果、30 ページ31 ページ辺りの記載事項が出てくるとして、
2:39:13	その時にですねお願いしたいのはですね、どこが既設流用で、どこが新規のものになるのかっていうことは、
2:39:23	ある程度当たりをつけていただけないでしょうか。
2:39:26	例えば、ここで言うのですね、政府系のところの設備構成というかここら辺はおそらく、そっくりそのまま入れ替えが必要だろうということは容易に想像つくんですけども、
2:39:41	例えばポンプ本体がですね、いわゆる通常使われてるサンプポンプのたぐいのものかと思われるんですが、そういうようなものが、
2:39:51	いきなりS s 機能値、
2:39:55	に耐えられるような機器構造になってるのかとか、そういうようなことがなかなかわかりづらいんですね。なので、ここら辺のものが
2:40:05	確定していないのかもしれないですけども、そもそも物を交換する、それ、それに向けたものに交換することを前提にして考えると、か、そういうようなことがわかればですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:17	流用できるもの、それから新たに作り変えるものっていうことの、切り分けをある程度明確にさせていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。
2:40:28	はい。北海道電力の伊藤でございます。ご指摘の趣旨はよく理解できました。
2:40:34	今ご指摘の中で、ご発言いただいた通りって確定してない部分というのはもちろんございますけれども、
2:40:43	我々の方針として、ここは既設流用できるでしょうここは改造でしょう、ここは補強が必要でしょうそういった、
2:40:52	目星というかですねそのあたりはある程度書き込めるのかなというふうに思います。
2:40:58	その上で、今5-1表の真ん中の、
2:41:02	信頼性確保に必要な対策というところで、ある程度何が必要なのかっていうところは書き込んでいたつもりでおったんですけども、
2:41:11	ESEピットポンプはそのまま使いたいと思ってるっていうようなところは、この日本語だけからでは読み取れないのかなというふうに今ご指摘を受けていて、
2:41:21	思いましたので、そのあたり、マッチングするですとか、もう一つポチを加えて、丁寧に書くですとか、そういった対応を考えたいというふうに思いました。以上です。
2:41:34	規制庁石田です。はい。それでは、その旨でお願いいたします。あとです、参考までなんですが、サブドレン管がですね、これいわゆる
2:41:44	FRPというか、時間ですよ。それで、
2:41:50	後ろの方に見ると、何かS s 数、地震に対しての機能維持が図れるっていうようなことがですね、73 ページとかそこら辺に書いてあるんですが、
2:42:01	これはあれですかね、
2:42:03	今後詳細評価をやった上で、やはりそうは言いつつ、S s 機能維持が厳しいとなれば、新たに新設計、
2:42:12	をやる余地があるというふうに考えればよろしいのでしょうか。
2:42:19	はい。北海道電力の伊藤でございます。今、評価として、サブドレインのところを考えていることに関しましては、
2:42:28	こちらに73 ページに書かせていただいている通りで、内腔が保持される部分は基本は問題ないでしょうと。上にも井戸が持ってる部分については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:39	先ほど机上評価ですとか解析の話とかありましたけれども、そのような評価をもって健全性を確認しますと、
2:42:47	局所安全率の話は、地震の決まり次第お示ししますということで、
2:42:53	この今のそのパッケージで基本的に通水機能の維持ということは説明はさせていただきたいなというふうに思っています。仮に、
2:43:04	それは認められないということになった場合には、建屋下をほじくり返して、集水管を入れ替えるということは非現実的でございますので、
2:43:13	他社さんがやられているような、新設の井戸を掘るといような対応にシフトせざるをえないのかなというふうに、今の会、見解としては、思う次第です。以上です。
2:43:27	はい。では規制庁の石田です。そこ、そこのところのご検討をお願いいたします。
2:43:34	それから引き続きなんですけど、51 ページとそれから 57 ページのところですね。
2:43:43	これで先ほどのこれは
2:43:46	例の 1 時間ぐらいの保持時間と時間ということでいろいろ議論されていたんですけども、
2:43:53	さっき平賀さんがちょっと話をされていたんですけどね、ここ、
2:43:59	1 時間ですね数値根拠っていうのをきっちりちょっとご説明いただいた方がいいと思っています。それで、江藤どうということかというところですね、51 ページのところを、
2:44:10	通常この図面で言うと、多分、今、一番上のところに数値設定のある、マイナス 4.75 メーター。
2:44:21	のところから、何だ、50、
2:44:28	あれですね-4.2 メーターの基礎の下端レベル、ここまでの空間ボリューム 9.3 立米ということで 1 時間ぐらいというふうな数値を設定されるんだと思うんですが、
2:44:41	通常こういったサンプポンプ、サンプピットサンプポンプの起動停止のロジックっていうのは、
2:44:50	ここで言うところの TP の 4.95 メーターで起動がかかってそこでずっと排水して、マイナス 5.35 メーターまで水位が低下して時点でポンプが止まってっていう、
2:45:01	つまりこの間では、水が行ったり来たりするっていうのが通常のやり方だと思います。それで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:07	マイナス 4.95 メーターでポンプ起動信号が入るんですけども、仮にここで入らなくて、動かなくてそのまま水位が上昇し続けた。
2:45:17	或いは動いてるんだけど、流入してくる。
2:45:22	水量が多すぎてポンプの排水量がつかなくなって、マイナス 4.85 メーターまで水位が上がってしまったっていうようなときには、ここでは選定ポンプ起動レベルって書いてあるんですけど、おそらく、
2:45:35	予備ポンプというかですね 2 台目のポンプの起動信号が使われてるんじゃないかと思われま。
2:45:41	で、それでなお且つをつかなくなったときに、最後 4.75 メーターというところまでたいて、警報が出るというふうなロジックになってんじゃないかというふうにちょっと、
2:45:52	これは私の想像ですけども、
2:45:55	そんなふうに設計は通常されているものだと思っております。
2:46:00	なので、実際のここら辺のシステムというかですね設計がどうなってるかということですね、ちょっとよくご確認いただいた上でですね、今、その 9.3、
2:46:13	立米ですか、その数字を算定する、基準レベル下端のところをマイナス 4.75 メーターとしてるんですけども、
2:46:24	もしかしたら 4.85 メーターだとか、もう少し下であるとか、少しそこら辺のレベル設定をですね見直す余地があるような気がして、
2:46:35	私はこれを見ておりましたので、少し少なくとも、システム設計とかそういうような方々ともお話をされてご検討いただきたいと思うんですがいかがでしょうか。
2:46:50	はい。北海道電力の伊藤でございますご指摘踏まえて、今一度検討して参ります。考え方としては、
2:46:58	先ほど申し上げた通りでございます保守的に考えると今の形になるのかなというふうに私今の段階では思っておりますけれども、
2:47:06	社内のメンバー含めて、また考えて、お示ししたいなというふうに、
2:47:13	思います。以上です。
2:47:17	はい。規制庁の石田です。よろしくお願ひします。保守的に印鑑を考へなるってのは、結構だと思ふんですけども、その結果出てきた 1 時間という、その時間の数字が、
2:47:29	いかにもちょっと刺激的かなという気がしましたので、申し上げました。
2:47:34	それから、最後 62 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:39	のところですね。これはですね、
2:47:43	耐津波のですね、集まり、
2:47:47	63 ページのですね、状況ですね、閉塞により排水不可という状況が、津波が、
2:47:58	遡上してきた場合に起こり得るということでこれはそちらの方でいろいろ検討した、同じような議論しました。それで、その場合には、この電気建屋の方から、
2:48:10	敷地外の方に、原子炉補機冷却水冷却海水系が外に出ていくということですね。つまり 60、
2:48:21	4 ページのところで書かれている黄色の矢印のようなことをおっしゃられていたんですけども、同様にですねやはりこれをこんなに理想的に綺麗に流れるっていうことはありえないでしょうということで、その際にも、
2:48:34	同様な指摘を、そういった議論になっておりますんで、
2:48:40	先ほどこれも江崎さん言ってた話と重複になりますけれども、そのときの話をもう少し具体的に言うと、もっと平面的に広がるだろうという話、それからですね、
2:48:51	例えば、最終的にワーパド丁での外に出ていくでしょうというお伺いなんでしょうけれども、包丁でのところに、外部への
2:49:01	排出を期待しているところにフラップゲートなんか今回するわけですけども、そのフラップゲートの排水容量がですね、足りるのかとかですね、そういうような話とかいろいろ出ておりました。
2:49:14	それから先ほど、この辺は条文適合の話としてイスイの方、
2:49:22	の考え方に準じるんじゃないかというようなことをおっしゃられていたんですけど、その対津波設計の時では、その条文適合についてもですね、溢水の方でいくのか、5 条のですね、
2:49:36	いわゆる外郭防護の外郭防護 2 のような、いわゆる漏水というふうな解釈で、そこを
2:49:45	条文上の考え方を展開するのかとか、その辺の話についてもいろいろ議論がありましたので、
2:49:52	そういった部分も、
2:49:55	よく情報共有をしていただいて、いただいた上で、ここはもちろん、
2:50:01	地下水の排水の話ではありますけれども、これは関連してきますので、情報共有の方、ぜひお願いしたいと思います。
2:50:09	よろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:12	はい。北海道の伊藤でございます。最後のご指摘、承りました。
2:50:17	同様の接種のコメントを耐津波ですとか他のところでもいただいておりますということは認識しておりますので、
2:50:25	関連条文整理してどこでどういう、
2:50:28	内容で回答するのが適切なのかというのは事業者の方でよく検討したいと思っております。それから、
2:50:34	ちょっともう一つ一つ前のご指摘についてですねちょっと確認がございますので、はい。
2:50:44	北海道電力の田口です。先ほど51ページについてコメントをいただいたところなんですけれども、
2:50:50	ポンプの起動停止のロジックみたいなところ、ご想像いただいておりますけれども、
2:50:57	我々の設計としては、TP-4.85のところ、最初に起動するポンプそちらを選定ポンプと呼んでいます。
2:51:05	それが起動すれば順調に水位が下がっていくんですけども先ほどおっしゃられたように、
2:51:11	水量が多いですとかポンプがきちんと動かなければ、その一つで、一番上ですねそのマイナス4.75に行ったところで高警報が出るとともに、
2:51:22	大気系のポンプが起動するという、
2:51:25	ロジックで作っております先ほど何か一つずつちょっとずれたようなお話をされておりましたので念のためお伝えいたします。以上です。
2:51:34	規制庁の石田です。わかりました泊の場合そういう設計になっているということですね。そうすると、保守的だから、構わないのかもしれませんが、
2:51:44	ヴァイナス4.75メーターのところ、待機ポンプ起動ですから、ポンプが2台動いているという可能性が高いわけですね。ただ保守的にそれでも、
2:51:56	ポンプが2台とも止まっていて、それで流入し続けると1時間程度で満杯になりますよという、
2:52:04	そういう理解でよろしいでしょうか。
2:52:09	はい。流量が上回ってる場合もそうですし、2台ともポンプが動いていない起動できていないという条件になれば、
2:52:17	想定している流入量に対して1時間程度で、
2:52:21	容積が1杯になるという計算をしております。
2:52:25	はい、了解いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:30	はい。規制庁石田です。私からは以上です。
2:52:35	すいません。規制庁伊藤です先ほどの藤原の話に関連してちょっと時間もあれなんで簡単に1点だけ確認させていただきたいんですけど、76ページ。
2:52:46	の、この種集水管等の館内清掃のルートの話で、折れ曲がってるところとかを考えてこのルートを設定しましたっていう話だと思うんですけど、
2:52:57	多分ハーッてる集水管と、
2:53:03	何ですかねエレベーションが違うと思うんですよ。補助建屋側と原子炉建屋側でまた高さ違うと思うので、それをもう踏まえて多分、
2:53:13	何ですかね、点検孔とかの位置を踏まえて、点検する際は、上りみたいなのを作らないように多分考えられてると思うんですね。
2:53:24	それを踏まえて今このルート選定したのは、そののぼりとかじゃなくて、下りだけを考えて多分ルート選定していて、そこもちゃんと考慮してますよっていうのを書いた方がいいのかなと思いましたが、いかが。まずその
2:53:38	ルート選定の考え方、私の認識と合ってるのかっていうのと、
2:53:43	あと、記載について
2:53:45	いかがですかね。
2:53:47	はい北海道の伊藤でございます。衛藤。
2:53:51	高さ方向のその勾配を考慮するべきはしている、いるのではないかと いうご指摘についてはその通りでございます。ただ、上りが著しく障壁になるかということもそうということもなくてですね。
2:54:04	過度なんですね、角度、
2:54:08	その曲を270度ぐらいをトータルで超えると、はどんどん入っていくんですけど抜けなくなるとか、そういう
2:54:19	制約もございますので、その辺りを踏まえて、ルートは設定しております。ちょっとその、
2:54:29	角度の要素とか、高さの要素とか、わかるように、書き込み、
2:54:34	を工夫したいというふうに思います
2:54:37	渡航勾配とか高さを考慮されているんでしょうということに関してはその通りでございます。はい。
2:54:44	すいません私から以上です。
2:54:51	すいません規制庁ただしちょっとちょっとね、
2:54:54	辰巳丹だけど今伊藤から出た話があったんでついでに言うんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:59	すいませんこのねごめんなさい。カメラつき噴射ノズルのこのなんだろう。
2:55:07	へえ。
2:55:10	実験っていうか、検証って、
2:55:13	そもそも何を想定してやるのか、目的何なのかって、
2:55:19	どっかに書いてありますかねえ。
2:55:22	いやそもそもな、なんでこれやるの。だからさっき言ったようにガリ一組んでたところちゃんとを抜けてて、逆に戻ってこれるかとかねそういうための実験やってるのか。
2:55:33	それとも見れるために、何かちゃんとカメラがするためにやるのかこれな、何のためやってんのかっていうのはちょっと、
2:55:41	明記はしてもらいたいと思うんでそれを踏まえてね、いや僕がもっと思ってるのは、
2:55:46	いや、実際の集水管って、こんな綺麗な状態じゃないかもしれないんだけど、そういう何か、現状の設置されてる状況を加味して、何かそういったものも考えているのかどうかとかそういうところにいろんな交流時間じゃないかな。何せ、
2:56:05	何言いたいかって見えないところを見ようとしているんでね。うん。やる、何かを、手を、何か作業しようとしてるんでね、そういったところを踏まえてこういったケイショウってな、何のためにやってんのかっていうのをちょっと明確にしてもらいたいと思うんですけど。
2:56:20	はい。北海道の井戸でございます承知いたしました目的は今、
2:56:25	おっしゃっていただいた通りかなというふうに思いますので、そこを書き加えるとともに、中がどうなってるのかわからないっていうのも、おっしゃる通りだと思ってまして、今、
2:56:36	YESピットの中からは状況見れますので、そこで見る限りでは、特に主障壁になるようなピカピカの状態ではないですけども、
2:56:46	障壁となるようなものはないのかなというふうに理解しております。
2:56:51	低調直はいそこら辺を踏まえた上で、その検証の条件とかね、例えば
2:56:59	その集水管とカメラの大きさをどういうふうに、これなら十分かとか、少なくともこれぐらいは小さい方が、
2:57:07	いいんじゃないかみたいなものは本来あるとは思うんで、そういったところはちゃんと定めて、ちゃんと
2:57:13	効果があるんですよこの検証やったことについていうことにしてもらわなきゃいけないのかなと思ってます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:18	それとちょっと話が変わるんですが、
2:57:23	25 ページ、ちょっとさっきも話出たんですけどこれを見た瞬間にすごく何か違和感を感じていてね、やっぱりその屋内に設置されてるものが屋外に設置されている条件で、
2:57:37	何かやってみたりとかあと、そもそも安全施設なのかどうかっていうところもちょっとこれも確認はしておかなきゃいけないのかもしれないけどその要求される事項としてどういうさっき言った独立性の話だとかね何だかってね。
2:57:51	どこまで求めてるんだらうっていうそこら辺は位置付けをちゃんと明確にCしてやってもらわないと、何かやらなくていいことやっちゃってませんかみたいなねそんなところも出てきちゃうような、
2:58:03	ところがあるんでいや必要なことは当然やらなきゃいけないんだけどそれはちゃんとこういうこの設備がこういう代物ですよっていうのが、明確に定義されれば必然的に適用される条文だとか何とかってのは明らかになるんだと思うんですよ。だから、
2:58:18	そういう意味では他社さんの事例を参考にしていることは全然構いません。ただそれをご自身の泊のプラントに当てはめたときにカスタマイズがいかにかできるかっていうところだと思ってるんですよこれは
2:58:30	今回の地下水位低下設備だけではなく他の設備もしかるべきだと思ってるんで、
2:58:36	そこら辺はしっかりと自分たちのプラントの状況として、設置状況とか踏まえてね、何がどういうふうに応用されるのかってのは、しっかりと、あらかじめ定めてからちゃんとやってもらわないと。
2:58:47	何か刀はめて何かできたような感じになっちゃってるとちょっとそれは非常によろしくないなと思ってちょっとそこら辺については注意をしていただければなと思います。これすいません。そういったコメントだけです。
2:59:02	それと、ちょっと細かいところで、1 個最後なんですけれども、
2:59:10	ページが出てくる。
2:59:13	ここだ、61 ページとか 63 ページもそうなんですけどまずは、
2:59:19	いずれにしろ L I X I L さんで明記してもらいたいんですけども、
2:59:23	どうも見てると他社で言ってるその何だろう、熱交換器建屋みたいなものが電気建屋に相当しててそれプラス、屋外の建て、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:34	なんかピットみたいなのも合わせて一緒になっちゃってるってこれも泊特有の設備なんじゃないかなっていう気がするんですよね。そういった意味では、
2:59:44	そういった観点で電気縦を見るって話をちょっとやっておかないと、本来この必要な配管がありますそれを支えるサポート、躯体構造があるんですよって言った時に、
2:59:55	そいつのS sが決まるまではちょっとどうしようかもやってますっていうのじゃなくって、維持しなきゃならない設備がありそれに対する例えばサポートだ、その体制もたせなきゃいけない躯体だっていうのに、どういう機能を持たせなきゃいけないかっていうのが、自然的にあると思うんで、
3:00:13	通常、通常ですと例えばこういった配管が成績のいい時だつたらそれが通ってるところは必然的にSイメージになるんだからそう持たせるようにしますっていうのがまず、
3:00:25	前提なんじゃないかなと思ってのんですよ。それを踏まえた上で、先生の評価が出て持たない、じゃあどうしようってそういう話なんじゃないんですか。最初から持つ持たないの話を言ってくるのではなくて、
3:00:38	そもそもこの躯体構造にはこういった機能が本来要求されるんだが本来あって、
3:00:45	しかるべきなんじゃないかなっていう気はしていますが、いかがでしょうか。
3:00:52	はい。北海道電力の伊藤でございます。
3:00:56	前段の部分はカスタマイズが足りないよというところをご指摘の中で
3:01:02	先ほどの表の部分も、我々の前提に立って少し見直していかなければいけないこと。
3:01:10	あと関連の話も出ましたので、関連図をマップをつけることで、
3:01:15	そのあたり全体の整理がよくわかるようにまた工夫して参りたいと思いますので、
3:01:21	安全施設がかどうかというところにつきましては、基本的に安全機能そのものを担っているものではなく、ただ、
3:01:31	間接支持を
3:01:34	持ってますので、クラス数に相当というふうに位置づけるというふうに、6項で取りまとめしておりますけれどもそもそも、
3:01:44	放管の中でどういうことをしているのかというのを改めて前段でご認識いただけるように整理したいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:52	小後半の部分につきましては、
3:01:55	今回地下水排水設備の資料ということで、電気建屋にフォーカスした資料ではなかったのも、
3:02:05	なんかこう、断片的な情報提供になってございますけれども、
3:02:11	先ほどの屋外設備と同様に、ここも津波ですとか大変ですとかいろいろ絡んできますので、
3:02:18	どういうフェーズでどのタイミングで、の内容をお示しするのがいいのかということは社内関係者で改めて協議して、対応を検討して参ります。
3:02:28	田口の方から何か。
3:02:35	北海道田口です。概ね今の伊東の回答の通りなんですけれども、特に我々の、
3:02:41	泊特有のことをきちんと考えて条件設定して絞り込むことが重要ということ深く認識いたしましたので、検討して参りたいと思います。以上です。
3:02:58	あ、すみません規制庁の天田です。ちょっと時間に、時間押してますけどちょっと一つ、幾つか私からちょっとコメントさせていただきます。まず29ページの四つ目の丸ですけど、
3:03:10	ちょっと同じような指摘があったかもしれませんが、
3:03:14	今、ここで議論してるのは、設計方針に関する、
3:03:19	適合性なりということなんで、こうなったらこうしますっていうことではなくて、設計方針として、
3:03:28	S s機能維持するとか、どういうふうにするのかと、あとでじった飯豊小困難な場合にはこうしますっていうことではないという古藤で、そういう趣旨が伝わってると思ってるんですけどそういう理解でよろしいですか。
3:03:43	はい。ありがとうございます北海道の伊藤でございます。まさにそういう、そのような指摘をいただいたことに対して、我々間接支持がとれる建屋内で、
3:03:54	の排水機能をS s機能維持取った配管を敷設しますという基本方針を明確にした、記載を
3:04:03	考えた上で、その上で、今現状その電気たての状況とどう、どう、乗せるのかというところは、相談して、
3:04:13	資料に反映するかしないか確認して参りますはい。
3:04:17	はい。よろしく願います。あと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:04:20	ちょっとクラスⅡ相当っていうのは出てくるんですけど、ちょっとさつき宮本からもあったかもしれませんがDBの世界であればある程度わかるんですけど今回
3:04:34	SSMを対象に、想定する、その状態としてはSAを考えますということが、
3:04:41	あちこち書いてあって、
3:04:43	かつ重大事故等緩和設備とかですね。
3:04:47	炉心損傷後のCv。
3:04:52	破損防止。
3:04:53	の、SAの有効性評価の評価事故シーケンスを持った
3:05:00	に対する対象の設備も対象にするということになると。
3:05:05	代替電源からです。SBOっていうのも、
3:05:10	おそらく
3:05:12	なんていうんすかね、状態としては、
3:05:15	対象とする設備としては入ってくるような気もするんですけど、そこで、
3:05:22	これプラスそうと。
3:05:24	ていうのがちょっとよくわからなくてですね。
3:05:26	26ページの図を見ると、
3:05:29	何となく多重化してて、
3:05:34	クラス搬送等に近いような、
3:05:37	設計もしてるような感じがするんですけど、クラス相当っていうのは何、どこから来たあれなんですかね何か審査実績があるとかそういうことなんでしょうか。
3:05:49	はい。北海道電力の伊藤でございますクラス2相当と地下水位低下設備に対してクラス2相当と扱うというふうに、
3:05:59	明記するというか事業者のその考えをお示しするのは、泊3号炉が初めてじゃないかなというふうに思います。
3:06:06	島根2号炉も、全く同じ対応を新設ですけどもされてますけれども、そこはクラス云々というのは記載されており、おりませんで、
3:06:17	設計基準対象施設として、次、設備の重要性にかんがみた、精神の信頼性向上対策を施すというところに資料上は、ちょっとまとめ資料ですけども、
3:06:29	なっております。そうですね確か私もう島根は設計基準対象施設とした上で、設備の位置付け、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:06:39	を踏まえて、
3:06:40	施設機能維持とか、その多重化すると。
3:06:43	いうところだったと思いますので、
3:06:46	ちょっとそのクラスⅡ相当にすることで、何をやってるのかってのはちょっと、ちょっと見えないんですけども、だから、
3:06:57	プラスワンと違ってな、どういうところをやってるんですかっていうのは、
3:07:01	ちょっと何かはわかるように、
3:07:04	していただければと思うんですけども。はい。北海道の衛藤でございます。ありがとうございますクラス2相当とした場合に、
3:07:11	指針で、重要度分類指針で求められる、そのクラス2の要求事項というのを満足しているのかっていうのを、ちょっと逆流なんですけど確認してみましたと。
3:07:23	したところ、島根と同様に我々がやっ施すことにした信頼性向上対策というのが、十分でしたということをお示したかったんですけども、
3:07:34	ちょっとまたそれもデービーの話になるところもございまして、あまりそういうアプローチをしない方がいいのかなというのを今思った次第です。ちょっと持ち帰り社内でも、
3:07:47	宮本さんにもご回答しましたけれども、検討して参りたいと思います。
3:07:54	わかりました。あとは、
3:08:00	今の話と関連するかもしれませんが41ページのこの二つ目の丸で
3:08:07	その1系列が動作不能の場合には
3:08:10	補修を行ってその期間、
3:08:13	1系列が動作可能であれば、
3:08:16	水位を一定の範囲に保持することが可能って書いてあるんですけど、衛藤。
3:08:21	動作可能であればっていう、その
3:08:24	ことしか書いてなくて、
3:08:26	その動作が、
3:08:28	可能でない場合にはどうするかっていうのはちょっとよくわからないんですけども。
3:08:34	はい。北海道の伊藤でございます。
3:08:37	江藤さ、不可能であるという前提で書いてございます。
3:08:43	片系列が単一故障で止まったことを想定しますけれども、
3:08:49	ます他の機能喪失要因に対して防護対策を施しておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:55	単一故障が2個起こることはないでしょうという前提のもとで、片方は健全であるということ为前提とした場合に、片方止まったときには水中ポンプを入れた上で、
3:09:08	補修をしますということを記載しているつもりでございました。以上でございます。
3:09:14	はい。衛藤。
3:09:16	規制庁の天野です。それがさ、先ほどの他の説明と整合ちよっとしてないんじゃないかっていうことなので、整理していただければいいんですけど例えば9ページには、
3:09:26	一番下の方2、
3:09:28	重大事故等時を状態として想定していますと書いてあり、
3:09:34	かつ有効性評価のそれぞれの、
3:09:38	シーケンスですか、例えば23ページでは、
3:09:42	例えば過圧、過温破損とか、そういうところでは、
3:09:46	一応地下水、
3:09:49	排水設備の機能が喪失した場合、
3:09:52	地震が発生する場合は影響あると、この状態は多分シーケンスとしては、
3:09:57	代替電源も来ないというシーケンスになると思うんですけど。
3:10:02	そうすると、2台、
3:10:04	電動のポンプがあったとして、
3:10:07	二つ機能喪失してないんですかっていうような、ちょっとそういう辺りを、説明を、
3:10:14	一貫性のあるものにしていただく必要があるのかなと思いますけどいかがでしょうか。
3:10:19	はい。北海道の伊藤でございます。
3:10:22	今分関井の2分析2、3で使って、我々が使っている。
3:10:29	表で、地下水排水設備が喪失した場合の前提に立っているんで、
3:10:37	それと、私福士が先ほど申し上げた、
3:10:40	一代喪失っていう想定というのが、整合していないのではないですかっていう指摘というふうに理解してよろしいですか。
3:10:52	はい。はい。
3:10:54	ということでございますと、あくまでも、この必要な対応、
3:11:00	設備上の信頼性向上対策を施すアイテムを抽出する上で、
3:11:06	あえて対策を施しているんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:11:10	そうは言ってもというか、無理やり地下水排水設備機能喪失した場合を想定しようというのが、分析2と3の
3:11:20	やっていることというものですので、ちょっとその辺りの説明が不足しているというふうに理解しましたので、反映して参りたいと思います。
3:11:33	はい。はいよろしくお願いします。
3:11:37	等は、
3:11:42	は、ですねちょっとお待ちください。
3:11:51	あ、あとお59ページの下から二つ目のマル。
3:11:59	2行目に、
3:12:02	その期間においてってあるんですけどその期間っていうのは、
3:12:08	どういう期間を想定されてるんでしょうか。
3:12:12	はい。まさに約1時間の期間で方、ここで分かれているつもりでございました。
3:12:22	知事、わかりました。
3:12:24	それとそうですね今の1時間は割と確認があったと思うんですけど。
3:12:31	これ一応あれです評価
3:12:34	可搬で機能喪失した場合は、
3:12:39	復旧作業を1時間、
3:12:44	以内にやるっていうことなんですかね、考え方としてはどういう考えなんでしょうか。
3:12:50	機能喪失と申しますか片系統の動作不能の場合には1時間を守れるように、置き場所ですとか、
3:13:00	人員ですとか体制ですとか、
3:13:04	そういうものを整えたいというふうに考えているということは先ほど申し上げた通りですただ、
3:13:10	昨日、昨日宗主Ⅱを想定するかといいますと我々としては、カタケイは常に生きているでしょうということで、水中ポンプで
3:13:20	代替の機能として確保しながら、恒設の片系列を点検しますけれども、その場合においても、
3:13:30	あくまでも排水機能になっているのはもう1台の生き残っている、地下水排水設備の湧水ピットポンプですという、いうことで考えておりました。
3:13:47	あ、規制庁の天田です。で、その場合、あれですかね、先行でるし、センコーはLCOの議論を、
3:13:57	していてちょっと、泊と同じかどうかわからん。わかりませんが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:14:01	1時間の
3:14:05	ところまで到達しないように、そこに余裕を設けて対応というような考えも
3:14:13	示されてるんですけどそのあたりは、こちらの方はあれですか。
3:14:17	そのせせ形容地下水の、
3:14:20	設定までの時間で対応するという考えを持っているという理解でよろしいでしょうか。
3:14:29	北海道電力田口です。
3:14:32	この話前段の方でもちょっと議論させていただいたと思うんですけども我々今、
3:14:37	ベストを尽くしてこうしますというのを実は変えてきてしまっているもので、天田さんが今ご質問されてるような、じゃあどこで我々は、LCOに値するような、そういう、
3:14:48	管理ポイントを設けるんだというところはまだちょっと検討が追いついてませんので、それを追って検討していきたいと思っております。
3:14:58	規制庁の唐沢わかりました私からは以上です。
3:15:08	原子力規制庁の宮尾です多分
3:15:12	この部分って結構、
3:15:16	行ったり来たりして質問されてるので、
3:15:20	今、
3:15:22	イメージされてるものって、大丈夫ですかっていうのが少し私としては心配なんですけど、そこを、そこは理解されてます。大丈夫ですか。
3:15:31	要はね、まず、信頼性確保っていう言葉が、今ちょっと独り歩きしてるんですけど、
3:15:39	設計方針は事業者としてどう定めるべきかっていうところなんですよね。
3:15:45	で、まず、どういうすま設計をしますかっていうところの整理をしっかりした上で、先ほど、仲より
3:15:56	機能喪失を想定するしないよ。
3:15:59	基本的にこういう設計だから機能喪失は想定しませんと。
3:16:03	何でそれ機能喪失しないっていえるんですかってのはこういう設計をしますからっていう多分ロジックを明確にまずDB側で明確にしたほうがいいと思うね。
3:16:11	その上で、なお、機能喪失した場合を想定した場合にはこうなりますよならわかるんですけど、初めから機能喪失想定しますったら機能喪失想定

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	するのっていうふうな議論になってしまってそっちに偏ってしまうわけですよ。
3:16:24	なので、
3:16:25	まず、どういう設計をすることによってどういう安全性が確保されてるかかっていう整備をしなきゃいけない。
3:16:33	岩原です。ここで、
3:16:35	安全重要度については、先ほど言ったようにプラス1がいいのか2年がいいのか3がいいのかっていう議論というよりは、その
3:16:43	要は、どういうふうな位置付けで今設計すべきかっていう考え方を、多分立った上で、整理された方がいいと。
3:16:51	なので、
3:16:54	まず女川が何でクラス1になったかっていうと、要は敷地全体をカバーするための設備だから、
3:17:02	これ、要は、すごく広い。
3:17:05	免疫浄化にも関わるところがあって液状化に関しては、通常、
3:17:10	静的対応って言い方がいいのかわかんないんだけど地盤改良とか何かすることによって本来は担保されるべきなんだけどそれを動的機器持たしたから、
3:17:22	動的に戻すってことは動的と静的で同等ぐらいの信頼性をじゃあどうやって確保するんですかと。
3:17:28	いう議論になって、プラスワン相当の設計を持たせると、
3:17:33	それ図で要は一番てっぺんですね。
3:17:35	人にすることによって、要はその信頼性を確保します、要は基準適合を説明しますって言って持っていったと。
3:17:42	いうところの違いがあるので、さっき江崎さんも言ってたと思うんですよ、女川と。
3:17:47	市泊の識別を明確にしておかないと、先ほど言ったように、オーナーに無我夢中にお腹についてた場合に、以上の設計にするんですかっていう話になるので、
3:17:59	その辺の違いをよく式確認した上で資料を構成していただいた方がいいかなと思います。大丈夫すか。
3:18:07	イメージわきませんかね。
3:18:10	はいありがとうございます北電の伊藤です。
3:18:13	外間。はい。イメージは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:18:17	すいませんまだ正直少しSWISS移行してですね、消化して、イメージができてくるのかなというふうに思いますけれども等の、
3:18:29	サインについてはまさにおっしゃっていただいたところで、明確にしなきゃいけないのかなと思ひましてそれを、
3:18:36	先にやられたのが、島根なのかなというふうなところもありますので、その辺りも両者見ながら、はい。改めて検討して参りたいと思います。
3:18:51	規制庁志賀です。その他、
3:18:56	規制庁側からよろしいですか。
3:18:59	はい。ちょっと今日いろいろと質疑、事実確認はさせていただきました。いろんな話がちょっとありました先ほど宮本の方でまとめていただいたように、
3:19:11	基本的に何が、
3:19:13	やりたいのかっていうところをきちんと明確にした上で整理をしてください。
3:19:19	例えば私が何か細かいことをいろいろ聞きましたけれども、
3:19:23	その細かいことは何だろう、地下水排水設備の設計上一体どの辺に位置付けられるんだとかですね、何か例えばドレーンの何かモックアップ試験だとか言ってましたけどあれって、
3:19:34	さっき尾中と違って何かどこ数それ見る必要があるんだとかいうのは当然あるかと思うんですね。今なんかそこら辺って何か、
3:19:43	何だろうこの目次みたいな何か全部並列で書かれてて何か、
3:19:47	何かどれが重要なのかで、階層構造がどうなってるのかごめんなさい私全然ちょっと理解がしにくかったん大体わかるんですけどですね、一応そういう度なんか階層構造とかですねそういったものを踏まえてちゃんと
3:19:59	ご検討いただくとよりわかりやすくなるかと思ひますので今後一応そんな形でやっていただきたいと思ひます。これはただの私の感想ですので、特に返答は求めません。
3:20:10	北電の方から何か
3:20:13	確認したいこととかございますか。
3:20:21	北海道電力神原です。本店側から、何か申し上げたい事項等ありましたら、お願いします。
3:20:28	北海道電力からですけれども、本店側からは特にございません。以上です。
3:20:35	はい。では今日のヒアリングは以上としたいと思ひます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。